

大分空港・宇宙港将来ビジョン検討部会 第2回資料

～取り組むべき施策の方向性について～

◇ 検討部会 全体スケジュール(案)

<p>第1回検討部会 令和3年10月14日</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 全体スケジュール(案)の説明➤ 大分空港・大分県の現状等の整理➤ 宇宙への挑戦➤ 上記を踏まえた大分空港・宇宙港の課題・期待等に関する意見交換
<p>第2回検討部会 令和3年12月9日</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 第1回の議論及び空港を取り巻く追加の分析を踏まえた大分空港・宇宙港の課題・期待等の再整理➤ 上記を踏まえた取り組むべき施策の方向性に関する意見交換
<p>第3回検討部会 令和4年1月頃～</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 第2回の議論を踏まえた大分空港・宇宙港の将来像についての考え方の整理➤ 将来像及び具体的な取組についての意見交換
<p>第4回検討部会 令和4年3月頃～</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 第3回の議論を踏まえた将来像、具体的な取組についての整理➤ ビジョン素案についての意見交換

【目次】

1. 大分空港の課題・ポテンシャル

- (1) 大分空港及び空港を取り巻く環境の現状及び課題整理
- (2) コロナ禍を踏まえた航空・観光マーケットの将来トレンドに関する分析
- (3) 空港コンセッションについて
- (4) 宇宙港の将来性

2. 取り組むべき施策の方向性

- (1) SWOT手法に基づく大分空港の現状分析
- (2) クロスSWOT手法に基づく施策の方向性

1. 大分空港の課題・ポテンシャル

(1) 大分空港及び空港を取り巻く環境の現状 及び課題整理

① 航空ネットワーク

② 空港施設・二次交通等

(2) コロナ禍を踏まえた航空・観光 マーケットの将来トレンドに関する分析

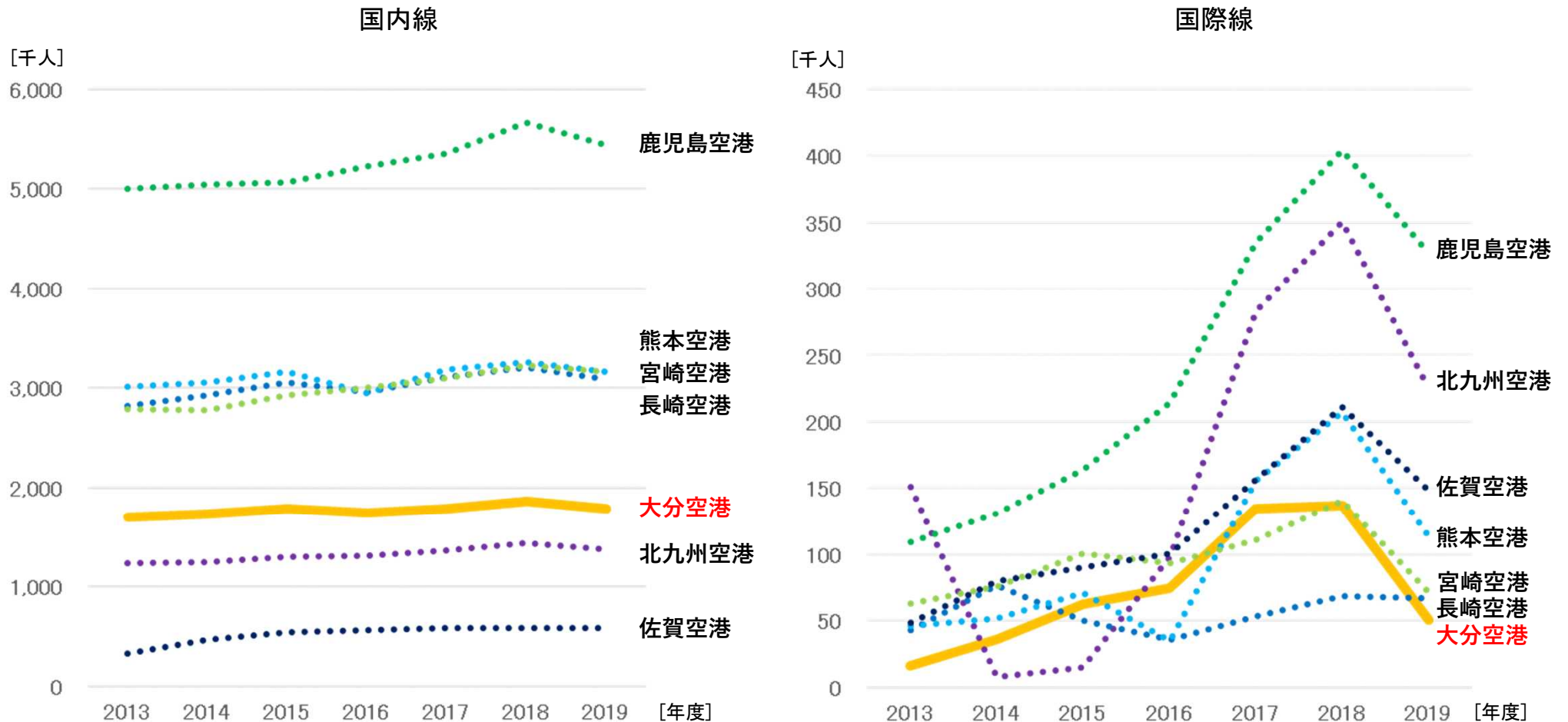
(3) 空港コンセッションについて

(4) 宇宙港の将来性

◇ 大分空港の現状

- 国内線は、九州内8空港の中で、佐賀空港及び北九州空港に次いで乗降客数が少なく、**需要の底上げが必要**。
- 国際線は、九州他空港と比較して路線数が少ないため、乗降客増加に向け、**新規路線を増やす等の施策が必要**。

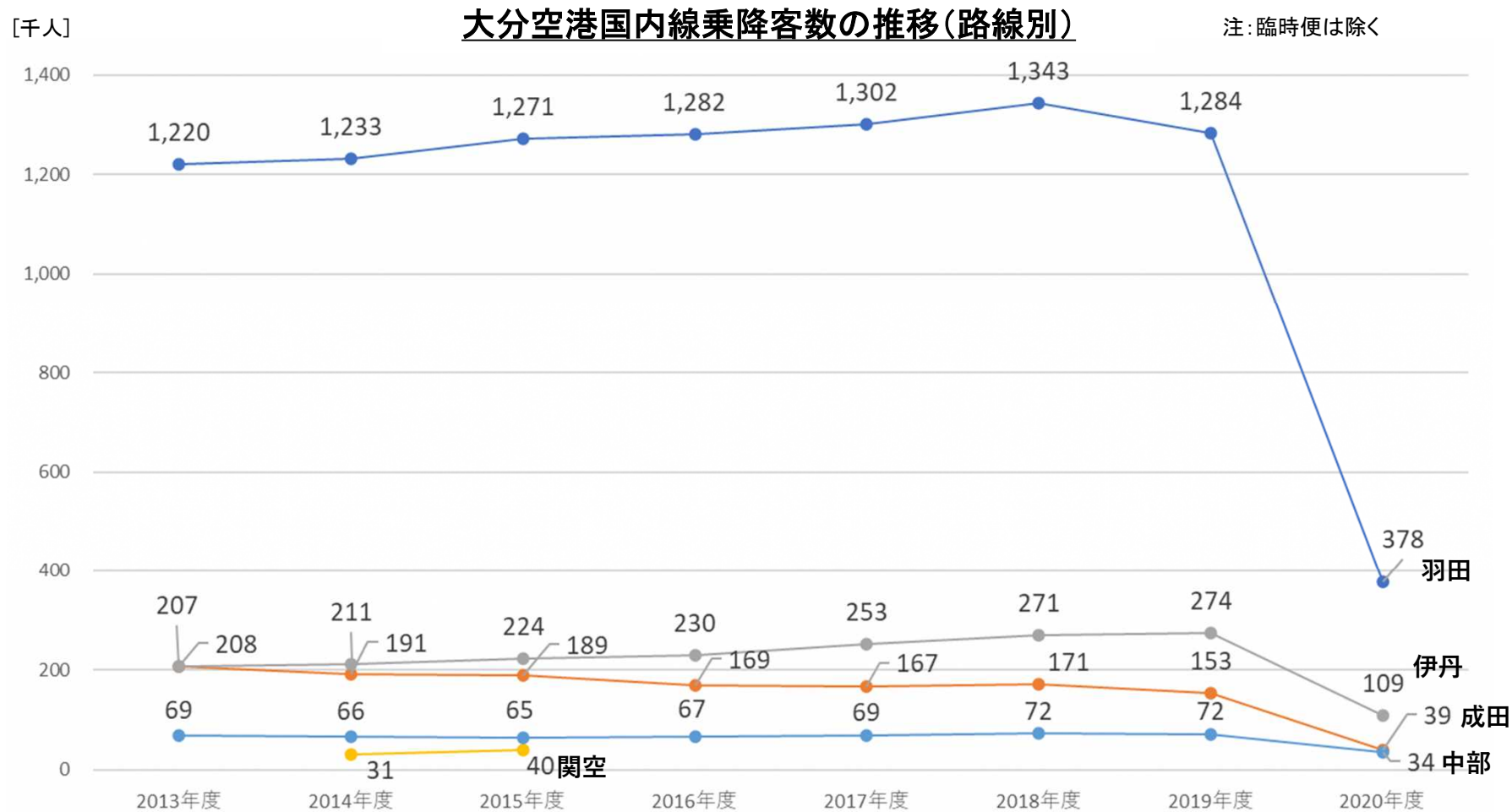
国内及び国際線の乗降客数推移(福岡空港を除く)



出典：「暦年・年度別空港管理状況調書（H22～R1）」（国土交通省）を基に大分空港利用促進期成会事務局作成

◇ 大分空港の現状(国内線)

- 国内線のうち、**東京(羽田・成田)便の乗降客数が全路線の約8割**を占める状態が続いており、大阪を含めた、**関東・近畿の需要**は大分空港にとって**重要な要素**となっている。
- 一方、**東京・大阪への依存度が高い**状態であるとも言え、更なる分析が必要と思われる。

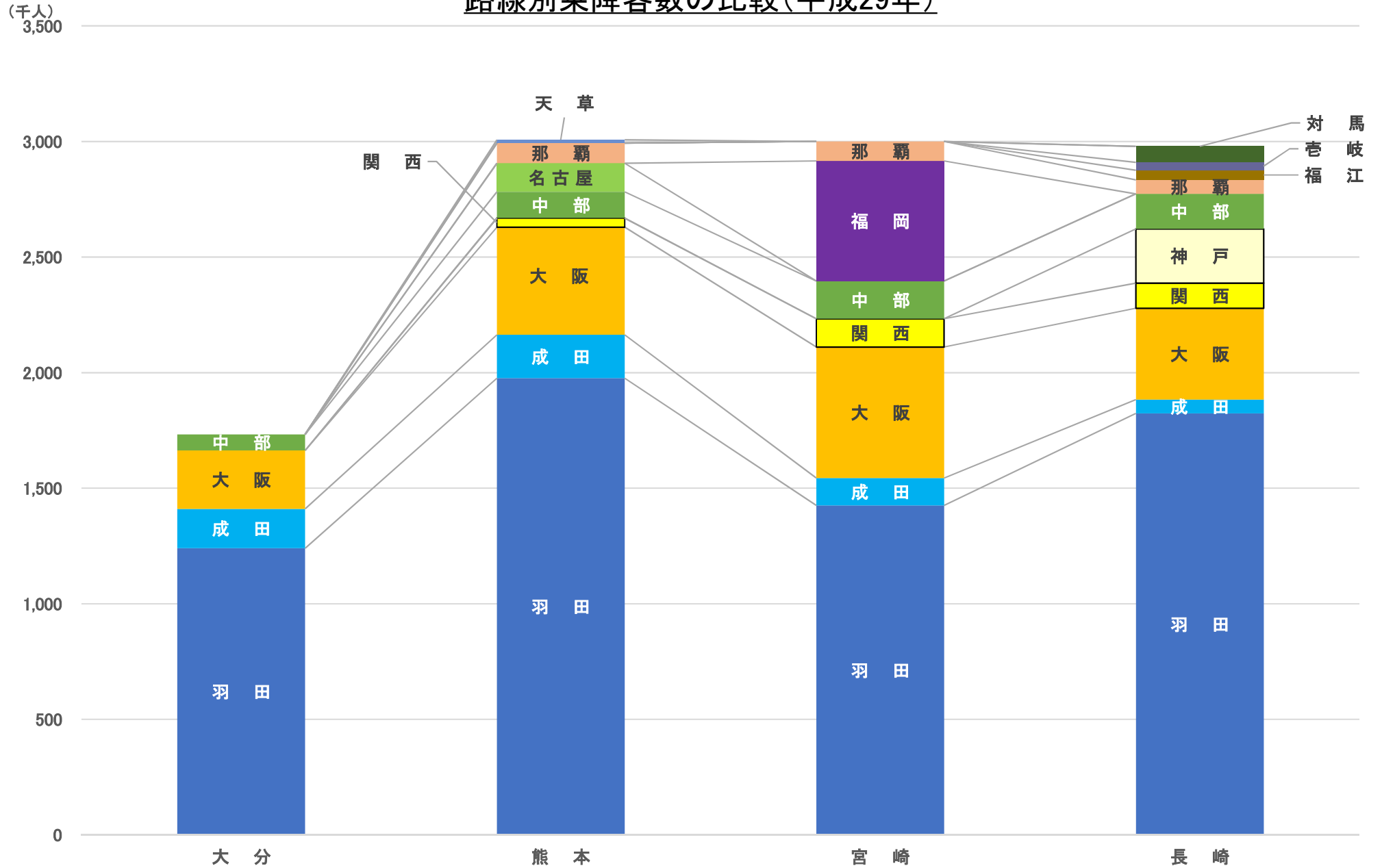


東京(羽田・成田) [千人]	1,427	1,424	1,460	1,451	1,469	1,514	1,437	417
大阪(伊丹・関空) [千人]	207	243	264	230	253	271	274	109
合計(全路線) [千人]	1,703	1,733	1,790	1,747	1,791	1,857	1,783	559

出典:「第58期～第65期事業報告書」(大分航空ターミナル株式会社)を基に大分空港利用促進期成会事務局作成

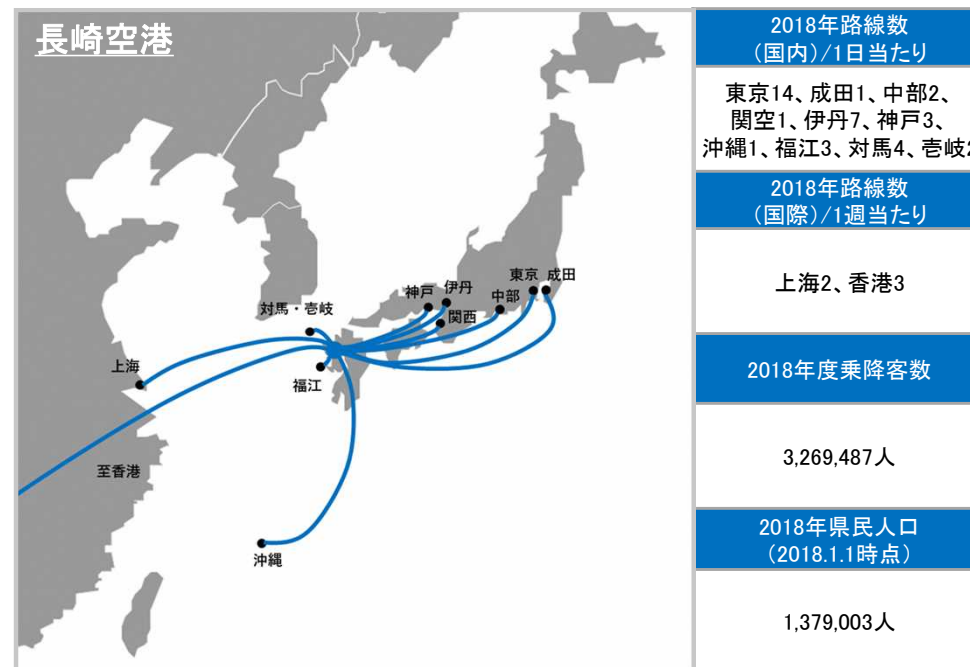
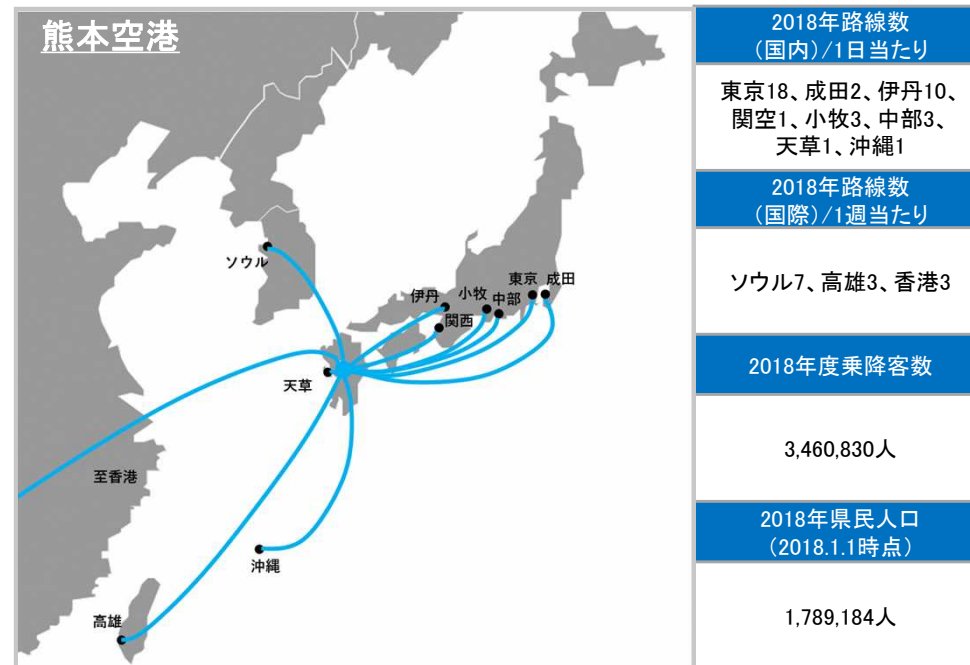
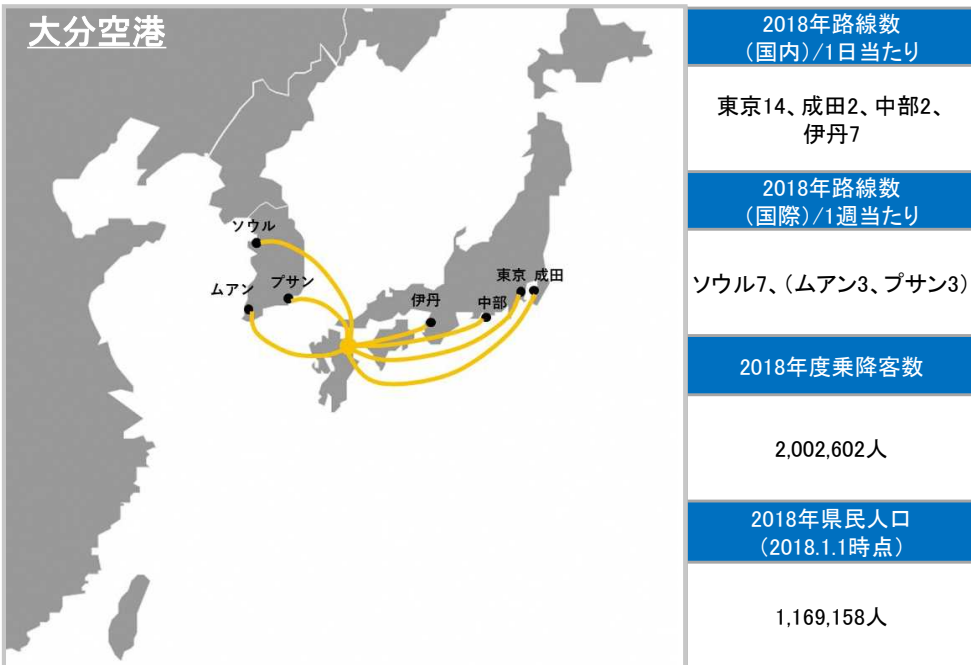
◇ 他空港比較(熊本空港・宮崎空港・長崎空港)

路線別乗降客数の比較(平成29年)

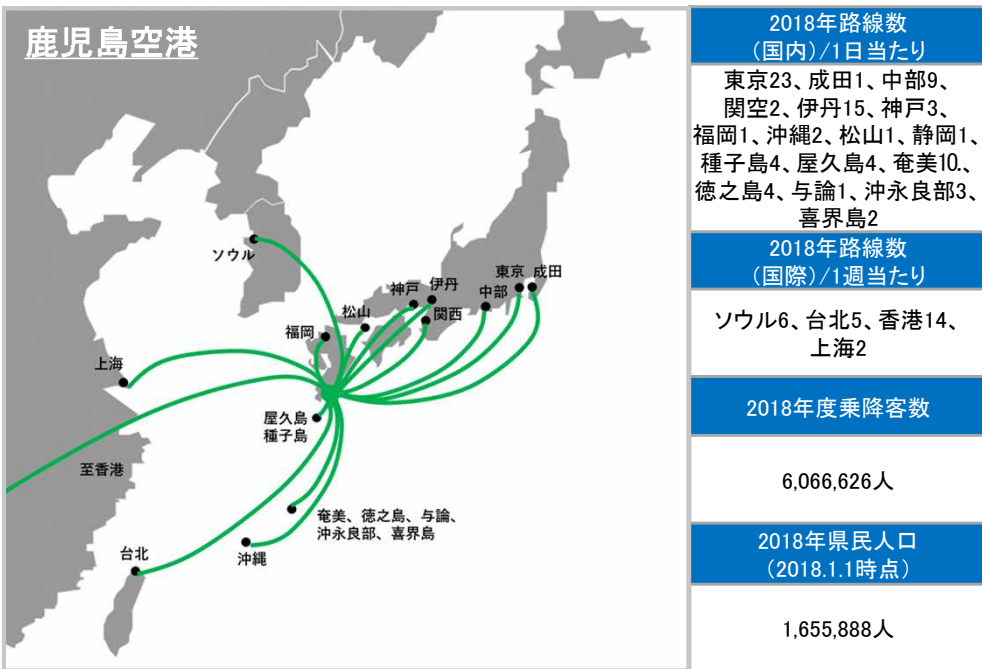
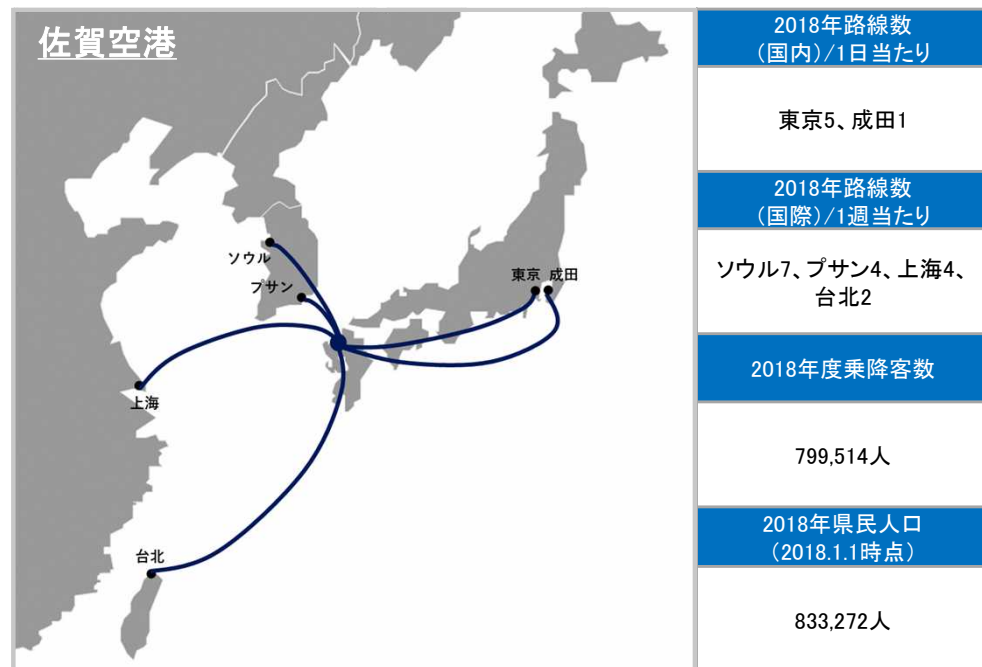
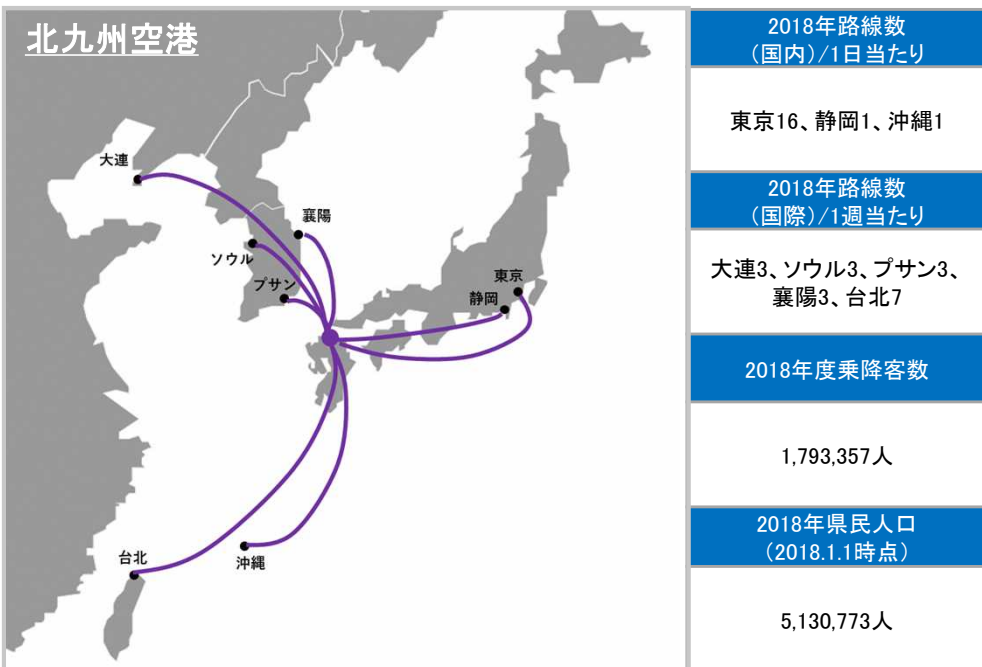


出典:「平成29年度国内航空空港間旅客流動表」(国土交通省)より大分空港利用促進期成会事務局作成

◇ 九州各空港の就航路線



九州各空港の就航路線

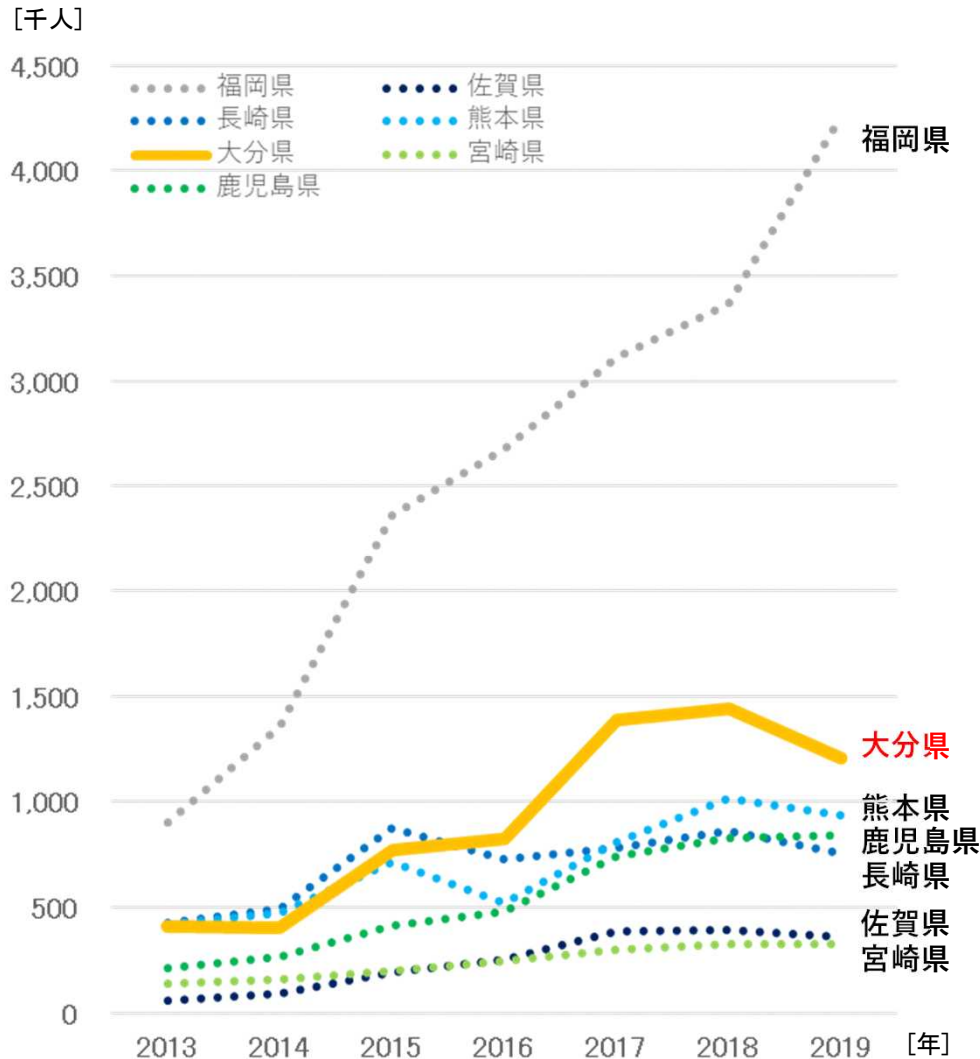


出典:「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査結果(2018年)」(総務省)、
「平成30年空港管理状況調査」(国土交通省)、各空港ホームページを基に
大分空港利用促進期成会事務局作成

◇ 国内における観光動向(外国人観光客)

- ▶ 大分県は全国15位前後、**九州内では福岡に次いで外国人宿泊者を獲得**している。
- ▶ 九州各県は概ね20位以内にランクインしており、他地方と比べて外国人誘客実績が豊

九州各県別延べ外国人宿泊者数



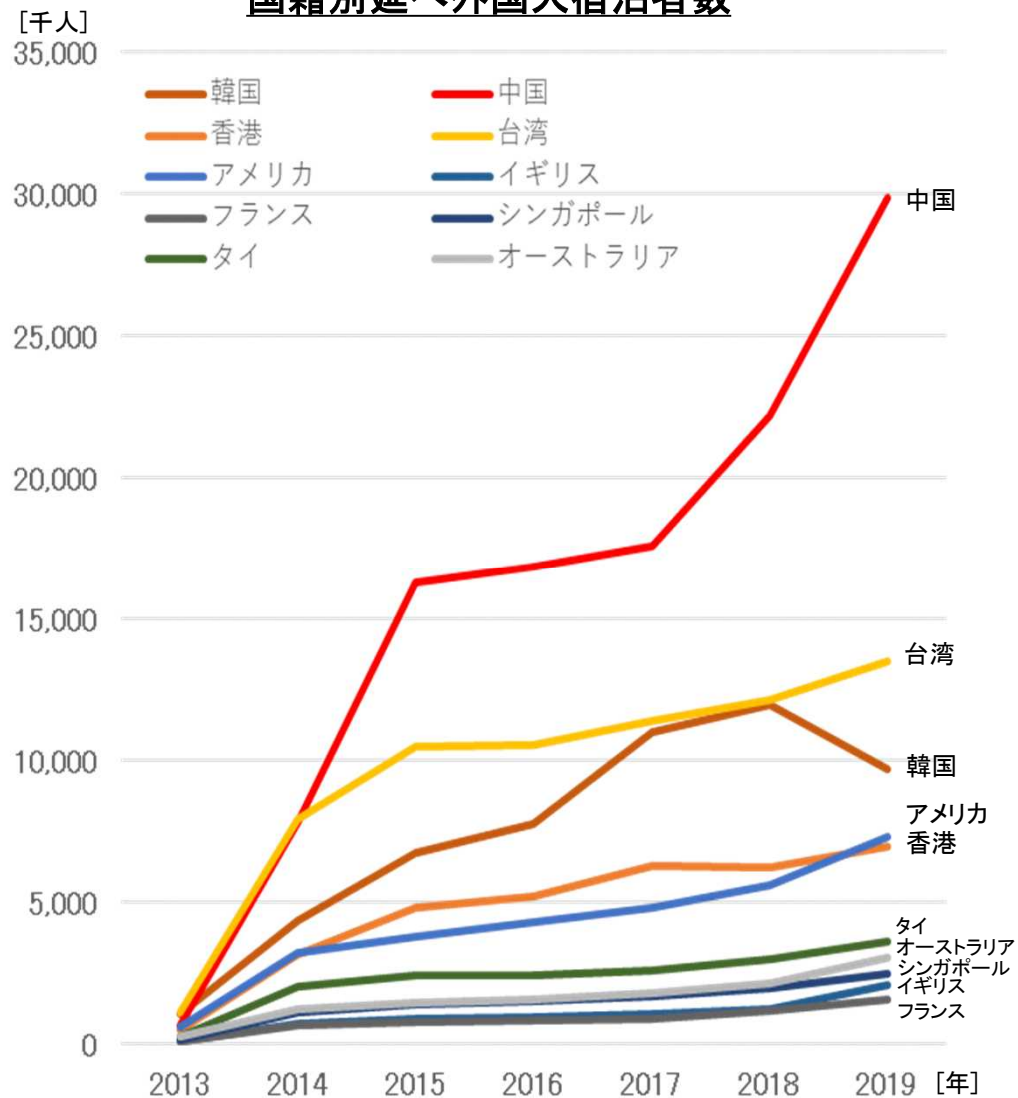
都道府県別延べ外国人宿泊者数ランキング

順位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
2	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府
3	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	京都府
4	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	北海道
5	千葉県	千葉県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
6	沖縄県	沖縄県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
7	愛知県	愛知県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県
8	神奈川県	神奈川県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県
9	福岡県	福岡県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県
10	静岡県	山梨県	静岡県	静岡県	山梨県	山梨県	静岡県
11	長野県	静岡県	山梨県	山梨県	静岡県	静岡県	山梨県
12	兵庫県	兵庫県	兵庫県	長野県	大分県	長野県	岐阜県
13	山梨県	長野県	長野県	兵庫県	長野県	岐阜県	長野県
14	長崎県	岐阜県	岐阜県	岐阜県	兵庫県	大分県	兵庫県
15	熊本県	長崎県	長崎県	広島県	岐阜県	兵庫県	広島県
16	岐阜県	熊本県	大分県	大分県	広島県	広島県	大分県
17	大分県	広島県	広島県	長崎県	熊本県	熊本県	石川県
18	広島県	大分県	熊本県	石川県	長崎県	石川県	熊本県
19	石川県	石川県	石川県	和歌山県	石川県	長崎県	鹿児島県
20	鹿児島県	和歌山県	滋賀県	熊本県	鹿児島県	鹿児島県	香川県
21	和歌山県	鹿児島県	和歌山県	鹿児島県	和歌山県	和歌山県	長崎県
22	栃木県	滋賀県	鹿児島県	滋賀県	香川県	香川県	和歌山県
23	奈良県	三重県	三重県	香川県	岡山県	岡山県	宮城県
24	宮崎県	宮崎県	新潟県	三重県	奈良県	奈良県	奈良県
25	富山県	栃木県	奈良県	奈良県	滋賀県	滋賀県	岡山県
26	滋賀県	奈良県	栃木県	岡山県	佐賀県	新潟県	新潟県
27	三重県	香川県	香川県	新潟県	三重県	宮城県	滋賀県
28	群馬県	富山県	富山県	栃木県	新潟県	佐賀県	三重県
29	宮城県	新潟県	宮崎県	佐賀県	宮崎県	青森県	佐賀県
30	新潟県	宮城県	茨城県	宮崎県	群馬県	三重県	富山県
31	埼玉県	群馬県	佐賀県	茨城県	富山県	宮崎県	青森県

◇ 国内における観光動向(外国人観光客)

- 直近7年で外国人宿泊者の国籍別シェア構成に大きな変化は見られない。
- 一貫して中国、台湾、韓国、香港といった**東アジアからの旅行客が大半**を占めている。

国籍別延べ外国人宿泊者数

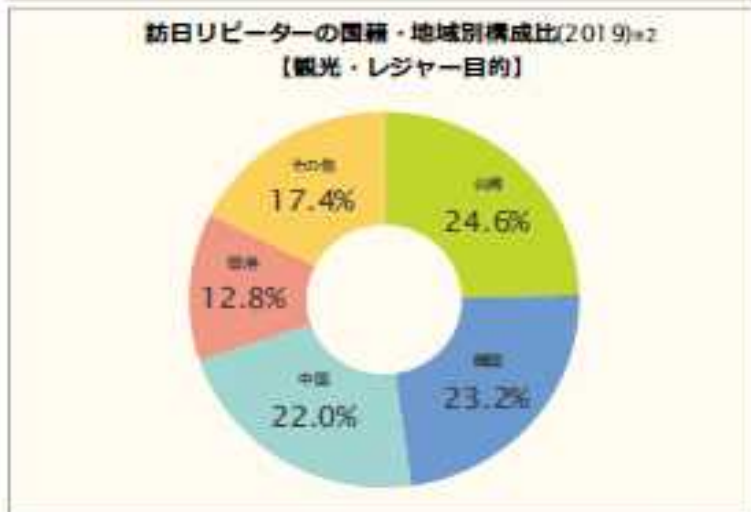
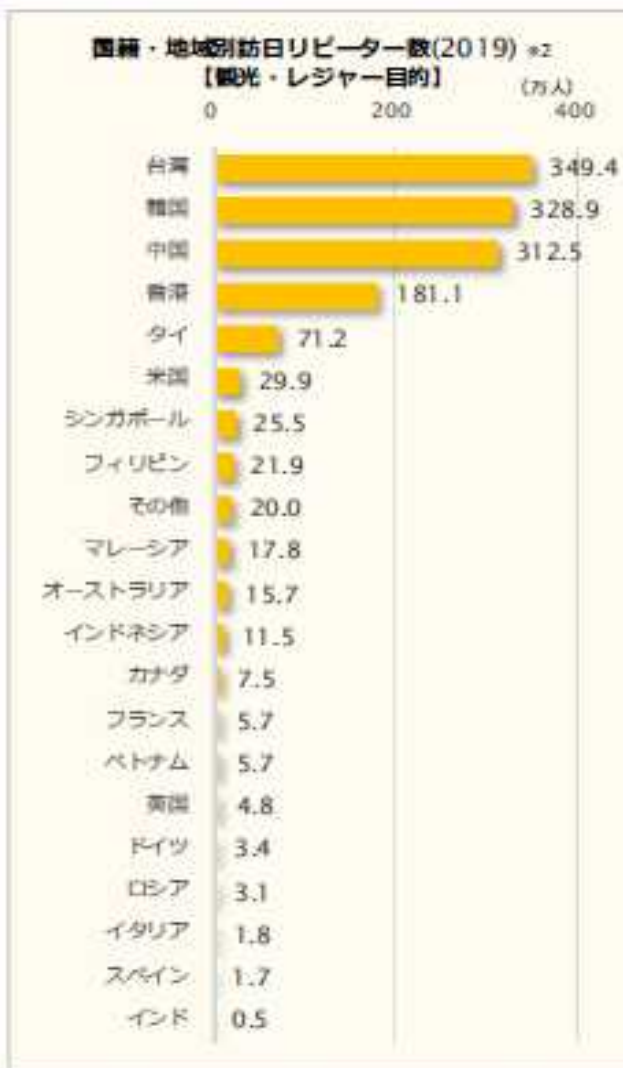


国籍別延べ外国人宿泊者数ランキング

順位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	台湾	台湾	中国	中国	中国	中国	中国
2	韓国	中国	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾
3	中国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国
4	アメリカ	アメリカ	香港	香港	香港	香港	アメリカ
5	香港	香港	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	香港
6	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ
7	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア
8	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール
9	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス
10	ドイツ	マレーシア	マレーシア	マレーシア	インドネシア	インドネシア	フランス
11	フランス	フランス	フランス	フランス	マレーシア	フランス	インドネシア
12	マレーシア	ドイツ	インドネシア	インドネシア	フランス	マレーシア	マレーシア
13	インドネシア	インドネシア	ドイツ	ドイツ	ドイツ	ドイツ	フィリピン
14	カナダ	カナダ	フィリピン	フィリピン	フィリピン	フィリピン	ドイツ
15	ロシア	スペイン	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ
16	インド	インド	イタリア	イタリア	イタリア	イタリア	イタリア
17		ロシア	スペイン	スペイン	スペイン	スペイン	スペイン
18		ベトナム	ベトナム	ベトナム	ベトナム	ベトナム	ベトナム
19			インド	インド	インド	インド	インド
20			ロシア	ロシア	ロシア	ロシア	ロシア

◇ 国内における観光動向(外国人観光客)

- **訪日リピーター数は年々増加**しており、2019年は2016年の約1.6倍となった。
- 東アジア4ヶ国・地域の中でも**香港や台湾**では、訪日回数が「10回以上」の「**訪日ヘビーリピーター**」の割合が高くなっている。

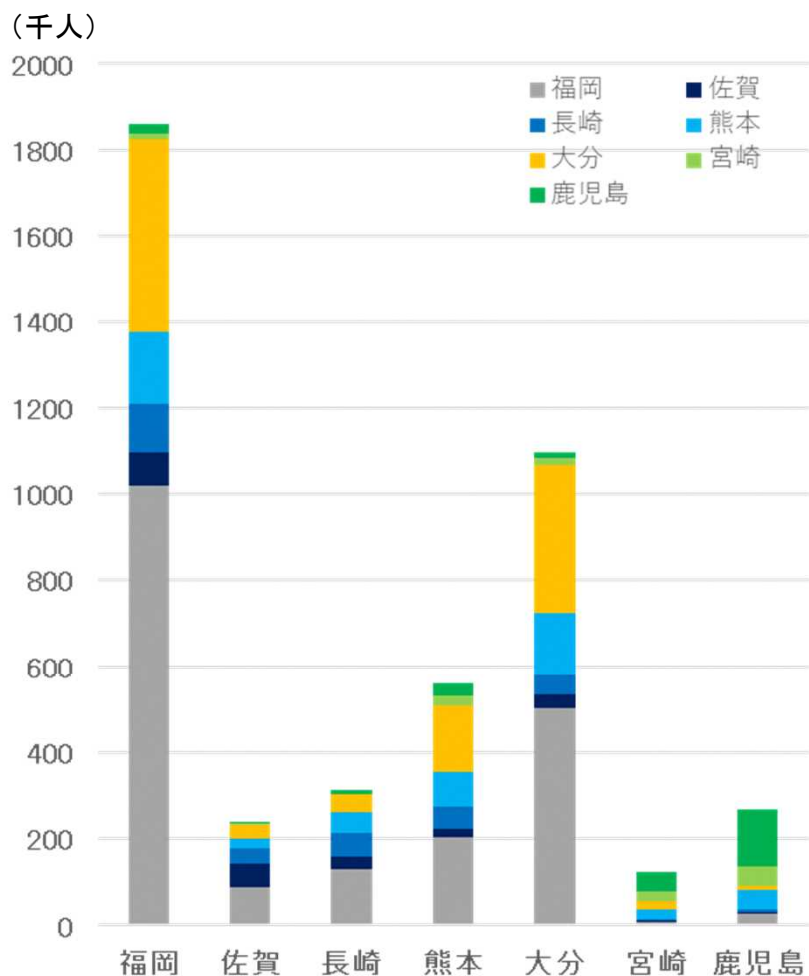


※1: 数値は2016~2019年の調査サンプルを対象とし、訪日外客数(クルーズ客を除く)による国籍・地域別および四半期別ウェイトバック処理を実施した上で、観光・レジャー目的の分析を行ったものである。
 ※2: 訪日リピーター数は「訪日外客数」(クルーズ客を除く)に観光客「訪日外客消費動向調査」の「主な来訪目的」の「観光・レジャー」の割合と、「日本への来訪回数」の「2回以上」以上の割合を乗じて算出した推計値である。
 ※3: 数値は2019年に実施した調査サンプルを対象とし、訪日外客数(クルーズ客を除く)による国籍・地域別および四半期別ウェイトバック処理を実施した上で、観光・レジャー目的の分析を行ったものである。

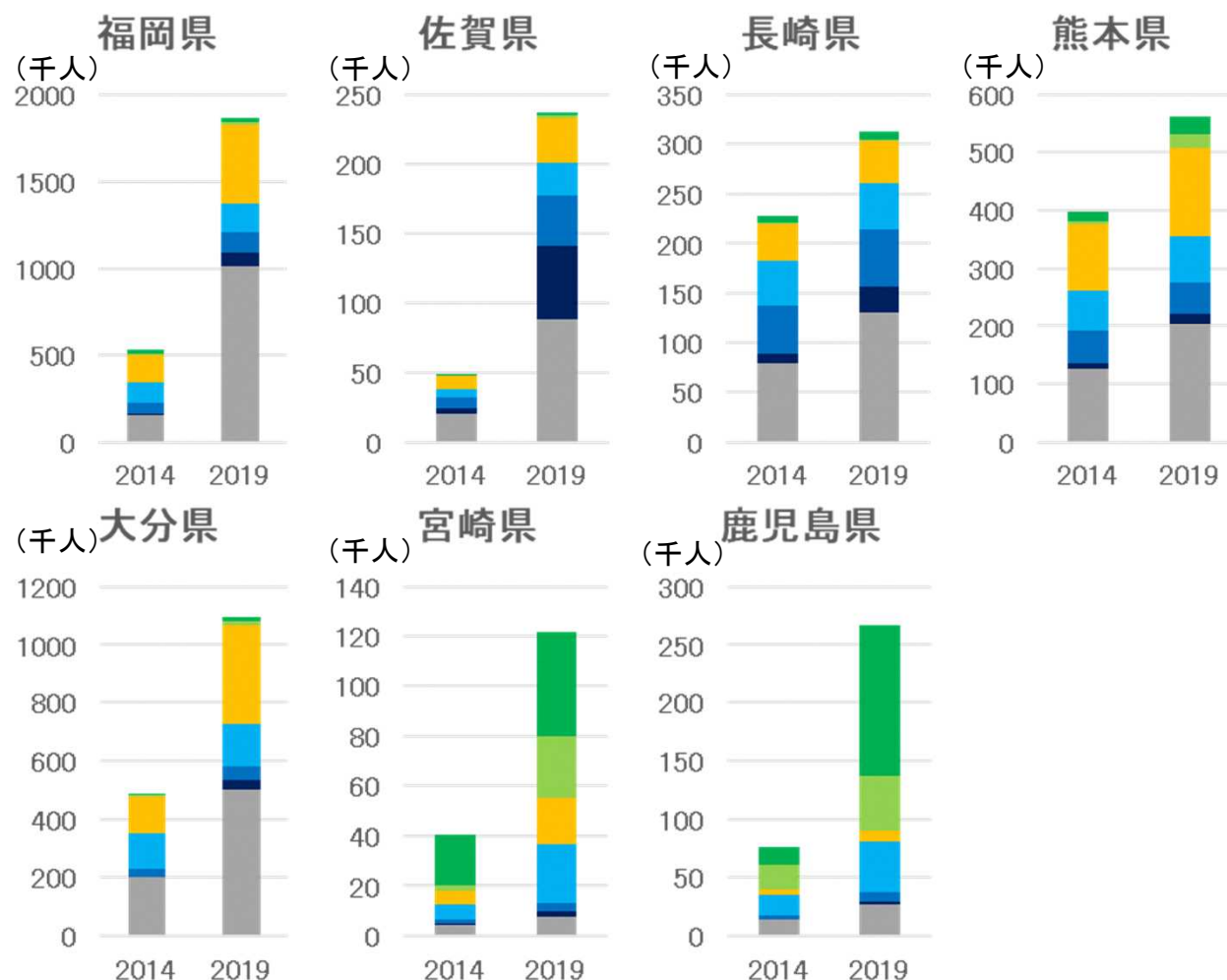
◇ 大分県における観光動向(外国人観光客)

- 福岡県とセットで大分県を訪れる外国人が多くなっている。
- また熊本県-大分県、福岡県-熊本県等の両県間の流動も多いことから、福岡県-大分県-熊本県等の広域周遊需要が成立している。

九州各県の二次訪問数(2019年)

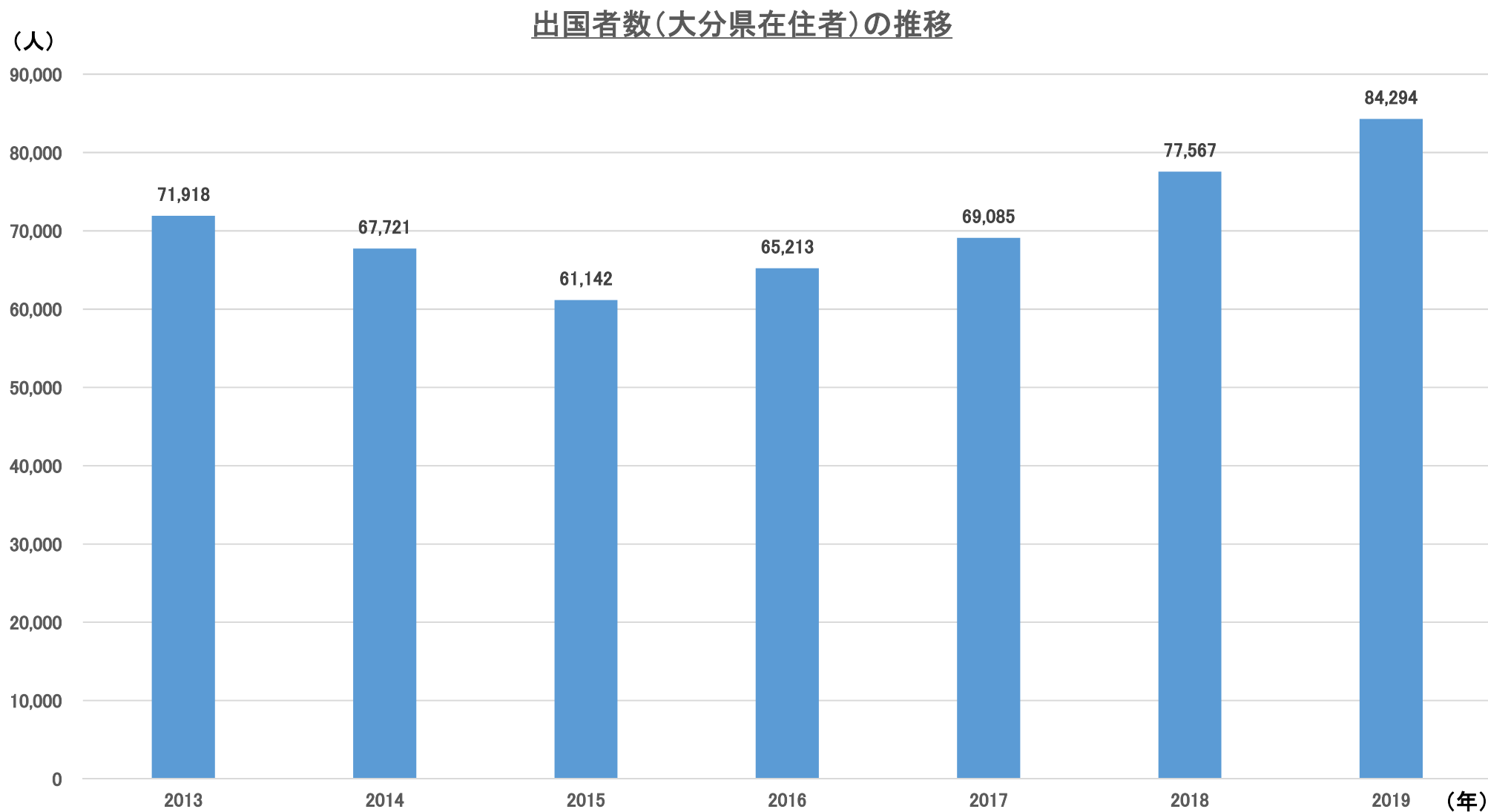


九州各県の二次訪問数推移(2014-2019年)



◇ 大分県民の海外アウトバウンド需要

- 大分県民の出国状況の推移を見ると、海外へのアウトバウンド需要は、近年増加傾向にある。



出典: 出入国管理統計統計表(出入国在留管理庁)を基に大分空港利用促進期成会事務局作成

1. 大分空港の課題・ポテンシャル

(1) 大分空港及び空港を取り巻く環境の現状
及び課題整理

① 航空ネットワーク

② 空港施設・二次交通等

(2) コロナ禍を踏まえた航空・観光
マーケットの将来トレンドに関する分析

(3) 空港コンセッションについて

(4) 宇宙港の将来性

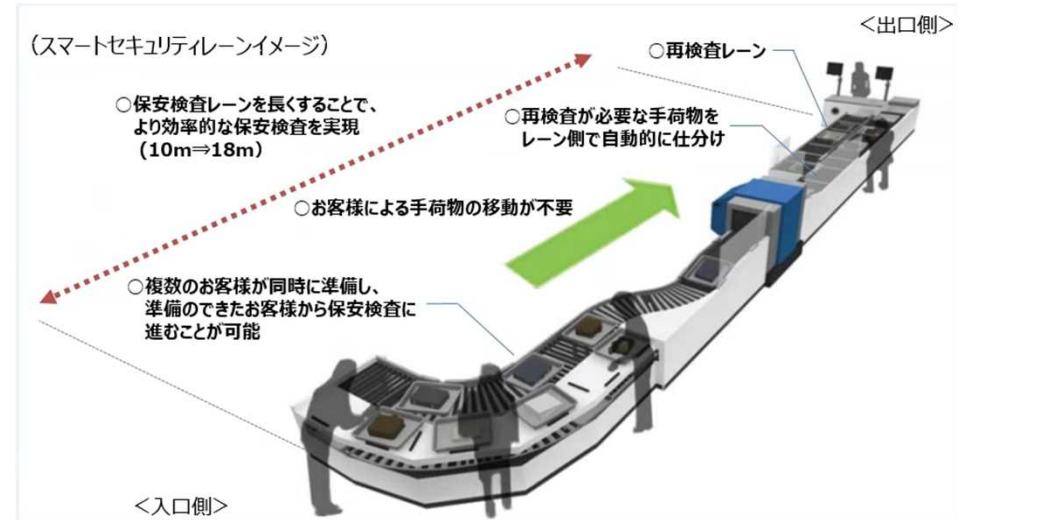
◇ 空港利用者の利便性を高める施設整備

➤ 空港利用者の保安検査等に係る負担軽減を図るための施設整備の導入が各空港において進められている。

スマートセキュリティレーン

スマートセキュリティレーンとは、最先端の保安検査機。複数の旅客が同時に検査準備し、準備のできた旅客から先に保安検査に進むことが出来る上、再検査が必要な手荷物は自動的に別レーンに仕分けされる。

保安検査が効率化されることで、保安検査における待ち時間が緩和される。

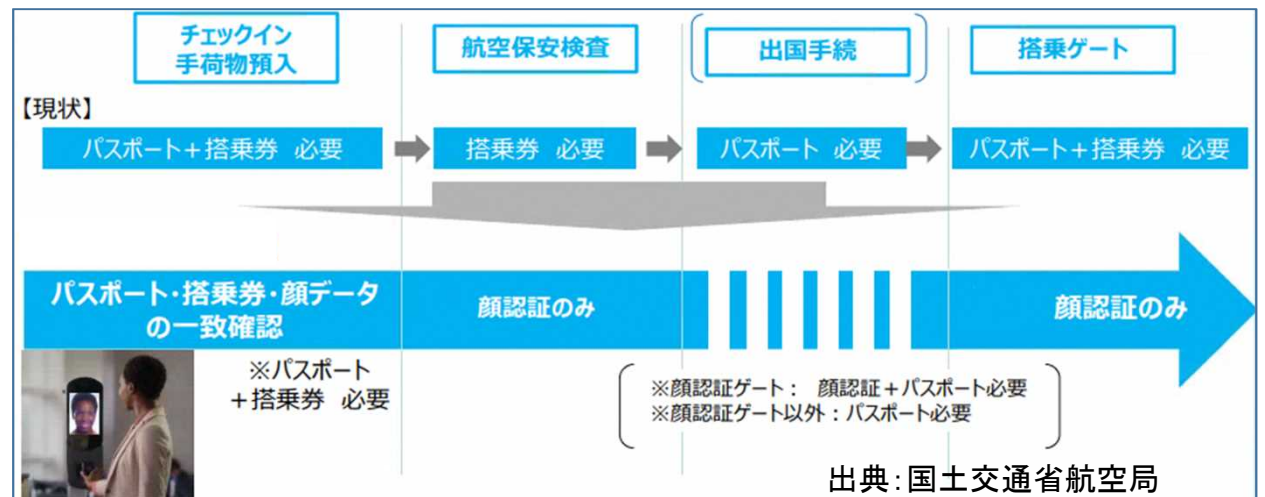


出典: PR TIMES ホームページ

顔認証によるOne ID化

One IDとは、旅客手続きの各段階(手荷物預入、保安検査、搭乗手続き等)における本人確認、パスポートや搭乗券などの確認を、一気通貫で顔認証により一元化する運用のこと。

旅客は、一度パスポート・搭乗券と顔データを認証させれば、自動・手ぶらで保安検査・搭乗ゲートを通ることが可能となる。



出典: 国土交通省航空局

◇ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた空港の脱炭素化

- ▶ 本年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、クリーンエネルギー戦略は成長戦略の一つと位置づけられ、空港の脱炭素化も推進される見込み。

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策

- ▶ 財政支出約55.7兆円、事業規模は約78.9兆円で、GDPの下支え・押し上げ効果は5.6%と見込まれている。

【経済対策の4つの柱】

I. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止

II. 「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え

III. 未来を切り拓く「新しい資本主義」の起動

成長戦略

1. 科学技術立国の実現(①科学技術、**②クリーンエネルギー戦略**、③スタートアップ支援)
2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」
3. 経済安全保障

分配戦略 ~安心と成長を呼ぶ「人」への投資の強化~

IV. 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保

- ▶ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、グリーンイノベーション基金、投資促進税制、規制改革など、あらゆる政策を総動員する
 - ✓ クリーンエネルギーへの投資
 - ・ 自動車の電動化推進、太陽光発電設備の整備支援等による再生可能エネルギーの導入拡大等
 - ✓ 国民のライフスタイル転換と企業の低炭素化支援等
 - ・ 企業の低炭素化に向け、エネルギー多消費型産業における石炭火力自家発電の燃料転換や製鉄用設備の低炭素化等を支援
 - ・ **海事・港湾・空港・鉄道等の分野における脱炭素化を推進**

空港分野におけるCO2削減検討の方向性

- ▶ 「空港分野におけるCO2削減に関する検討会の中間とりまとめ」(2021年7月28日)において以下方向性が示された。

「空港の」カーボンニュートラル化を加速 (空港の施設・車両からのCO2削減)

- ▶ エコエアポートの取組を加速し、空港施設・空港車両からのCO2排出削減を推進
- ▶ グリーン電力、水素を活用
- ▶ 建替時のZEBへの転換、EV・FCV化を加速する車両の技術開発など、更なるCO2排出削減に向けた取組を検討

「空港による」カーボンニュートラル化を開始 (空港の再エネ拠点化)

- ▶ 2030年において、空港のカーボンニュートラル化を達成
- ▶ 同時に取組を加速し、空港のグリーン電力を、航空機・地域のCO2排出削減、SAF・水素の製造、炭素クレジットの創出にも活用
- ▶ 空港の再エネ拠点としての潜在力をフル活用すべく、空港ごとの整備計画を早期に策定
⇒これらの取組を進めるために、支援策を検討

◇ 他空港における魅力度向上のための取組事例

▶ **航空ファンを対象としたイベントの開催**や複合商業施設の併設など多様な施策が講じられている。

【函館空港】/エアポートフェスタ

新函館空港開港60周年記念
エアポートフェスタ'21
開 2021年 9月11日(土) 12日(日) 函館空港内

滑走路ウォーク
滑走路を歩ける貴重な体験。滑走路のウォーキングと滑走路見学。
開催日時: 5:00~6:30 (4:30~開場)
参加対象: 小学生(家族等保護者同伴、2名1組)
参加人数: 20組40名

ANAマシーナリー体験・管制航空教室
最新の飛行機を模擬スロットへ誘導する体験と航空管制官のお仕事紹介等。
開催日時: 10:00~12:00 (9:30~開場)
参加対象: 小学生(家族等保護者同伴、2名1組)
参加人数: 20組40名

JAL機体見学・国際線出入国体験
JALの機体見学と模擬搭乗、動物検疫施設によるデモンストラレーション予定。
開催日時: 13:30~16:00 (13:00~開場)
参加対象: 小学生以上(18歳未満の方は保護者同伴必須)

参加方法: 函館・輪山管内住民対象 事前応募・抽選制
抽選日程: 2021年8月25日(水) 17:00まで
抽選結果発表は抽選結果のうえ、ご応募ください。抽選での抽選不可。
応募フォーム: <https://form.run@airportesta-025156484>

出所: 函館空港ビルディング(株)ホームページ

【名古屋飛行場】/ナイトミュージアム

2021秋 ナイトミュージアム
あいち航空ミュージアム AICHI MUSEUM OF FLIGHT
10/9 Sat & 16 Sat 17:30~20:00
みんなで夜のミュージアムと空港を楽しんじゃおう!

オリジナルグッズ(特典品)プレゼント
クリアファイル+ポストカード+YS-11ペーパーラフト
(未就学児(入館無料)には、オリジナル缶バッジ)

特別実施コンテンツ
★滑走路側大扉一部開放
★夜の空港解説空港の灯火について ①18:10~ ②19:10~ (各10分程度)
★ドローン体験 夜Ver. 17:45~20:00※
★YS-11機内公開 17:45~19:45※
★グライダー 着座体験・フライトシミュレーター体験

2021年度限定 個人入場料2割引 実施中!

出所: 愛知県ホームページ

【三沢空港】/フォトコンテスト

青森旅の思い出写真を自慢する!
三沢空港フォトコンテスト 2021開催
2021年10月20日(水) ~ 2021年11月17日(水)

ビジネス・ご旅行・帰省・県内周遊など...
あなたの青森旅の思い出写真をお送りください。

お手持ちの思い出写真(スナップ)を自慢して、賞品をGETしよう。

出所: 三沢空港ターミナル(株)ホームページ

【福岡空港】/フォトウェディング



出典: PRTIMESホームページ

【中部国際空港】/FLIGHT OF DREAMS



出所: 中部国際空港株式会社

【茨城空港】/空港サイクリングツアー



出典: 茨城県ホームページ

◇ 大分県の認知度向上に向けた取組

- 大分空港の乗降客数増加には、大分県の認知度向上に向けた戦略的取組が必要である。
- 現状は各社エアラインと協業して、大分県のPRに取り組んでいる。

地域を元気に！笑顔をつなぐ！ JALふるさとプロジェクト

- 就航先の特産品を用いた機内食の提供やお土産の機内販売
- 機内誌やHPでの各地の観光名所の紹介



機内放送「CAが巡る おおいた女子旅」 #IBEXでいく大分旅 SNSキャンペーン

- 機内放送でIBEXエアラインズの客室乗務員が大分のおすすめスポットを紹介
- SNSキャンペーンでは公式アカウントにて、大分の魅力や味力を伝える。



大分県とANAホールディングスが包括連携協定を締結 ～世界のお客様を、「おんせん県おおいと」へ！！～

- 大分県への旅行商品の造成・販売
- 大分県の食文化・文化・観光素材のPR
- 大分県産品の販売・輸出サポート



大分県とジェットスター・ジャパンが包括連携協定を締結 ～観光振興および地域活性化をさらに推進～

- LCC初となる包括連携協定を締結
- 大分県の観光振興及び地域活性化
- 「U・I・Jターン」の推進等が目的
- 「産学官連携による地域課題解決演習」を大分大学にて開講



～Thanks to OITA～ ソラシドエア羽田-大分線就航10周年

- 羽田-大分線就航10周年を契機とし、機内誌やWebでの情報発信とともに、アートを通じて大分の魅力をPR



九州各県地域振興プロジェクト ～いつもの自分と、距離をとろう。#私とディスタンス in KYUSHU

- ひとり旅のスタイル提示をする形で、九州各県の地域振興を図るプロジェクト。
- 「デトックス旅」「ワーケーション旅」「カラフル旅」の3コースにおいて大分県が紹介。



◇ 大分空港を起点としたMaaS導入について

- 大分空港を起点としたMaaSの導入を検討するにあたっては、空港直行アクセスのみではなく、エリア毎の利便性向上も含めて、それぞれの交通モードごとの取組内容検討が必要。

📌 大分空港を起点とした複数の公共交通を最適に組み合わせ、検索・予約・決済までを一括で行うサービスの構築。

📌 交通機関だけでなく観光施設等の情報やサービスとの連携も見据えた取組も検討。



大分空港を起点としたMaaS実証実験のイメージ

📌 空港アクセスバス

(一例)

- ①いつでもどこでもアプリを使って乗車したい便のチケット購入可能
- ②スマホの画面提示により降車が可能
- ③混雑状況や購入状況等が閲覧可能

📌 路線バス

(一例)

- ①時間内乗り放題のタイムチケットの導入
- ②スマホ画面（アクティブ状態）を提示することで、その間自由に乗降が可能
- ③おすすめの観光施設情報等と連携した情報発信や割引クーポンの付与等

📌 タクシー

(一例)

- ①ワンアプリで、配車予約から決済まで一括で利用可能

◇ ホーバークラフトへの接続について

- 空港ターミナルから約40mの場所にホーバークラフト旅客ターミナルを建設予定。
- 空港ターミナルと連携したスムーズな乗り継ぎの実現が求められる。

空港側ホーバークラフト旅客ターミナル建設予定地



屋根付き連絡通路で接続予定

建設予定地

1. 大分空港の課題・ポテンシャル

(1) 大分空港及び空港を取り巻く環境の現状
及び課題整理

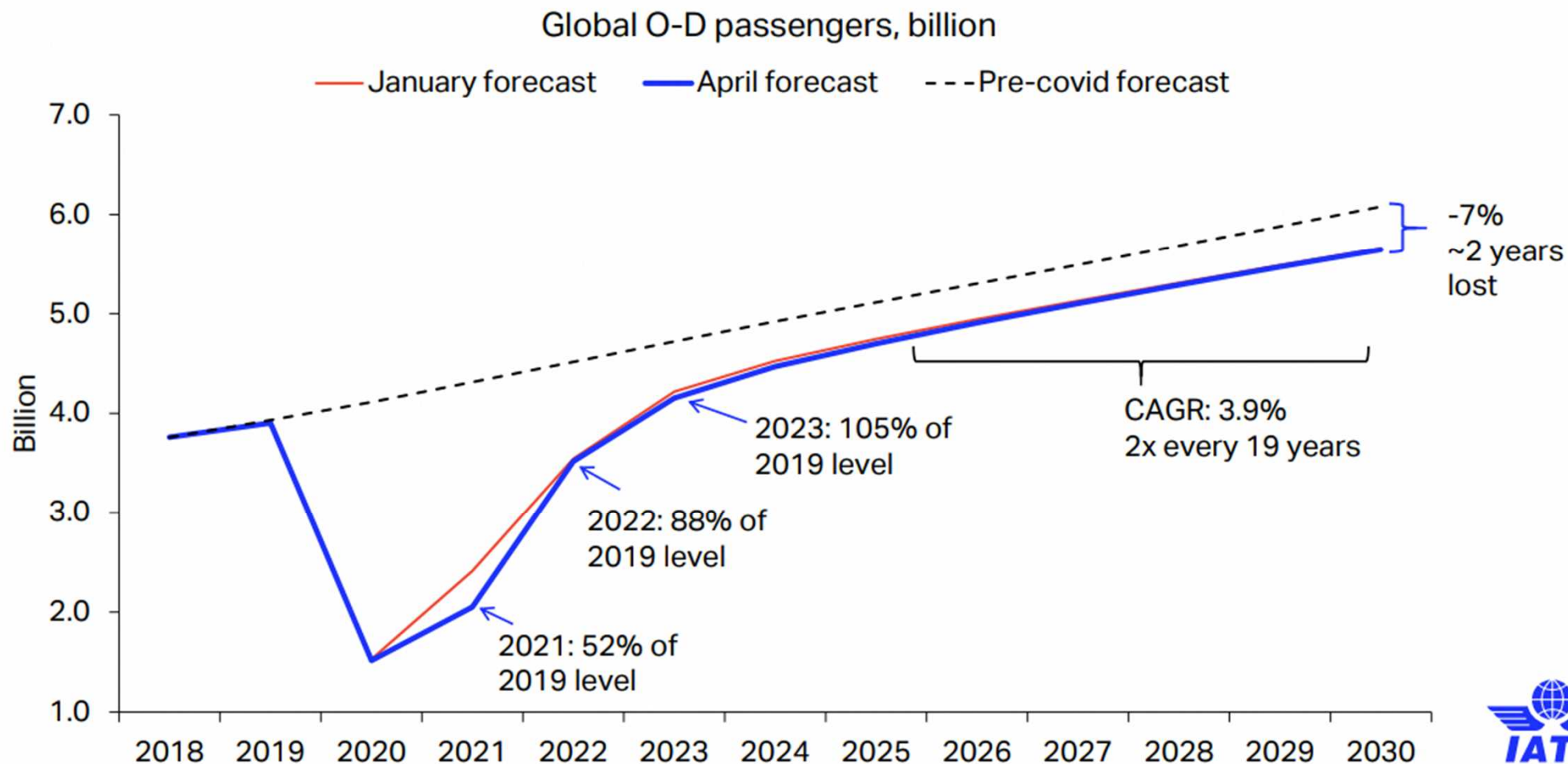
(2) コロナ禍を踏まえた航空・観光
マーケットの将来トレンドに関する分析

(3) 空港コンセッションについて

(4) 宇宙港の将来性

◇ 航空市場の回復動向

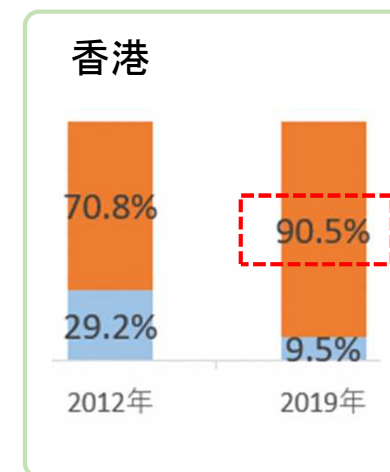
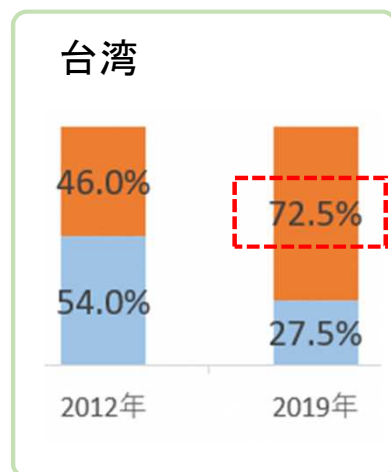
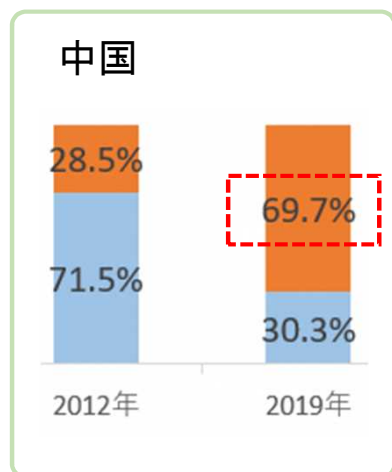
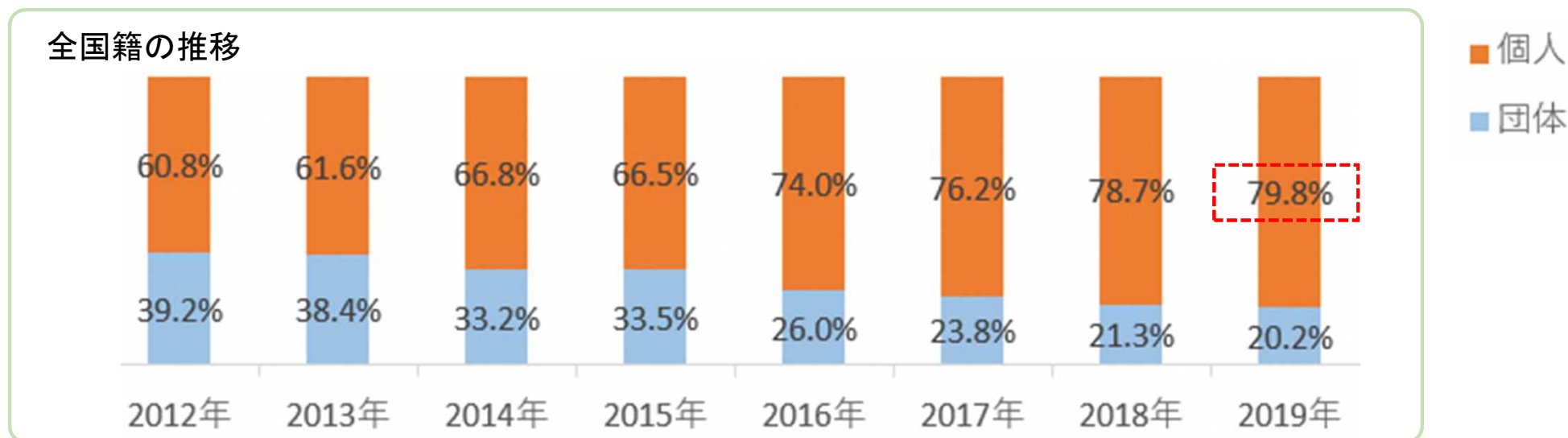
- 2021年5月公表のIATAレポートでは、旅客需要が新型コロナ流行前の2019年レベルに回復するのは2023年になるとの見通しが示されている。



◇ FIT(Foreign Independent Tour)化の進展

- FIT(団体旅行ではなく、個人で海外旅行に行くこと)化が進展。
- 2012年では団体旅行の比率が高かった中国、台湾でもFIT化が進展。

訪日外国人(観光・レジャー目的)の旅行手配方法



◇ 今後の観光市場のトレンドに関する分析(アドベンチャー・ツーリズム)

- 九州観光推進機構はアドベンチャー・ツーリズムを重点戦略と位置付けて推進している。
- アドベンチャー・ツーリズムは、「**自然、アクティビティ、異文化の3つの要素のうち2つ以上の要素で構成される旅行・観光**」を意味する。
- 大分県においても豊かな自然を背景とした様々なアクティビティを体験することができる。

【九重町】

乗馬



【別府市】

フォレストアドベンチャー



【由布市】

グランピング



【日田市】

キャンプ



【豊後大野市】

洞窟ダイビング



【佐伯市】

キャニオニング



◇ 今後の観光市場のトレンドに関する分析(サステナブル・ツーリズム)

- ▶ サステナブル・ツーリズムは、**旅行先の地域文化と環境の保全を第一に考えた「持続可能な観光」**を意味し、観光客が一方向的に旅行先のコンテンツを消費するだけでなく、その地域の人々の生活も豊かになるよう考えられた旅全般が良い例と考えられる。

SDGs への貢献と持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)の推進

- ▶ 日本政府観光局(JNTO)は、観光を取り巻く国内外の環境の変化を捉え、サステナブル・ツーリズムの推進を強化する為、取組方針を策定した。
- ▶ コロナ禍を受けた世界の旅行者の持続可能性(サステナビリティ)に対する意識の高まりを踏まえ、以下のとおり取組を推進し、日本が「世界の旅行者から選ばれる観光地」となることを目指す。

取組方針の概要



JNTOが考える持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)

地域の「環境」を守る・育む	地域の「文化」を守る・育む	地域の「経済」を守る・育む
<ul style="list-style-type: none"> 環境資源を最適な形で観光に活用している事例を情報発信 <p>→自然や生物多様性の保全等に貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の有形無形の伝統・文化資産等を魅力ある形で海外に発信 <p>→外国人旅行者による体験等を通じて、<u>伝統・文化の保存・継承</u>に貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本全国各地への外国人旅行者の安定した誘客・滞在の促進 地域ならではの体験や特産品等の購入促進 <p>→<u>地域経済の活性化と安定的・長期的な雇用を創出し、住んで良し・訪れて良しの地域づくりに貢献</u></p>

グリーン・デスティネーションズ

- ▶ 国際世界持続可能観光協議会(GSTC)が設けた持続可能な観光国際指標の、オランダを拠点とする国際認証団体の1つ。
- ▶ 2021年には、6部門に分けてTOP100の目的地が選出された。内、1割以上にあたる12か所を日本の地域で占めている。
- ▶ 大分県においても、国東六郷満山等ポテンシャルがあると考えられる。

佐渡市

佐渡金銀山など歴史・文化が香る佐渡島で環境を大切に、トキとの共生を続けたことが評価され入選を果たした。



※佐渡金銀山はユネスコ世界遺産登録に向けても取り組まれている。



〈写真〉佐渡観光PHOTO

大分県内トピックス

別府市の立命館アジア太平洋大学(APU)は、温泉地実習などを通じ、環境や文化の保護などの持続可能性を融合させた新たな観光の在り方を研究する新学部「**サステナビリティ観光学部(仮称)**」の2023年4月開設を目指すことを発表した。既存2学部も教育内容を強化し、時代に合った人材育成力を高める。



〈写真〉立命館アジア太平洋大学ホームページ

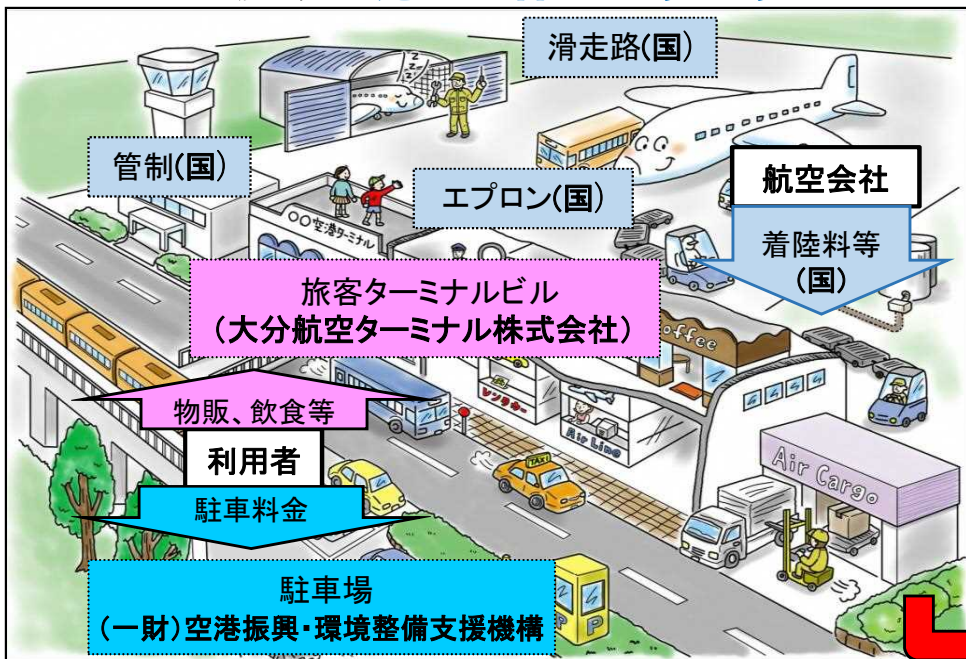
1. 大分空港の課題・ポテンシャル

- (1) 大分空港及び空港を取り巻く環境の現状及び課題整理
- (2) コロナ禍を踏まえた航空・観光マーケットの将来トレンドに関する分析
- (3) 空港コンセッションについて
- (4) 宇宙港の将来性

◇ コンセッション方式(イメージ)

- 大分県では、**国の調査事業**を活用して、大分空港における**コンセッションの導入可能性調査**を行っている。
- 空港コンセッションとは、航空系事業(滑走路等)と非航空系事業(旅客ターミナル等)を民間事業者が一体的に経営することにより効率的な運営を行い、航空ネットワークの充実・強化や地域の活性化を図るもの。

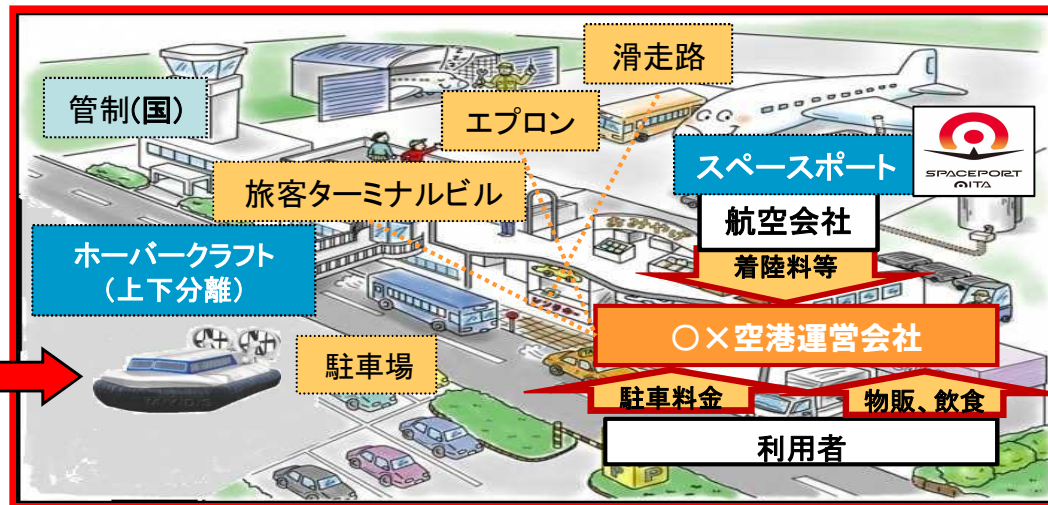
< 現況 > 各施設の運営主体がバラバラ



【課題】
各施設の運営主体がバラバラで一体的・戦略的な空港経営が不可

< コンセッション後 > 民間による一体的な運営

- 【効果】**
- ① **民間の資金とノウハウ**を活用した民間事業者による**一体的、戦略的な空港経営**
 - ② **航空ネットワークの拡大、駐車場の拡張、二次交通の充実、ターミナルビルの拡張**などの空港活性化に向けた取組や**利用者のニーズに対応**することが可能



出典:「空港経営改革について(平成29年3月)」(国土交通省)を加工して大分空港利用促進期成会事務局作成

【大分空港の場合】

対象施設	現在の運営者
管制	国
滑走路等	国
空港ターミナルビル	大分航空ターミナル株式会社
駐車場	(一財)空港振興・環境整備支援機構

管制以外について
民間へ委託



民間委託後の運営者
国
民間事業者

◇ コンセプションの概要

PPP/PFI推進アクションプラン(民間資金等活用事業推進会議決定)

< 令和元年改定版 >

空港運営の自由度を高め、既存ストックを活用した新規需要の開拓や交流人口の拡大による地域活性化に資するため、地方管理空港を含め、原則として全ての空港へのコンセプションの導入を促進する。

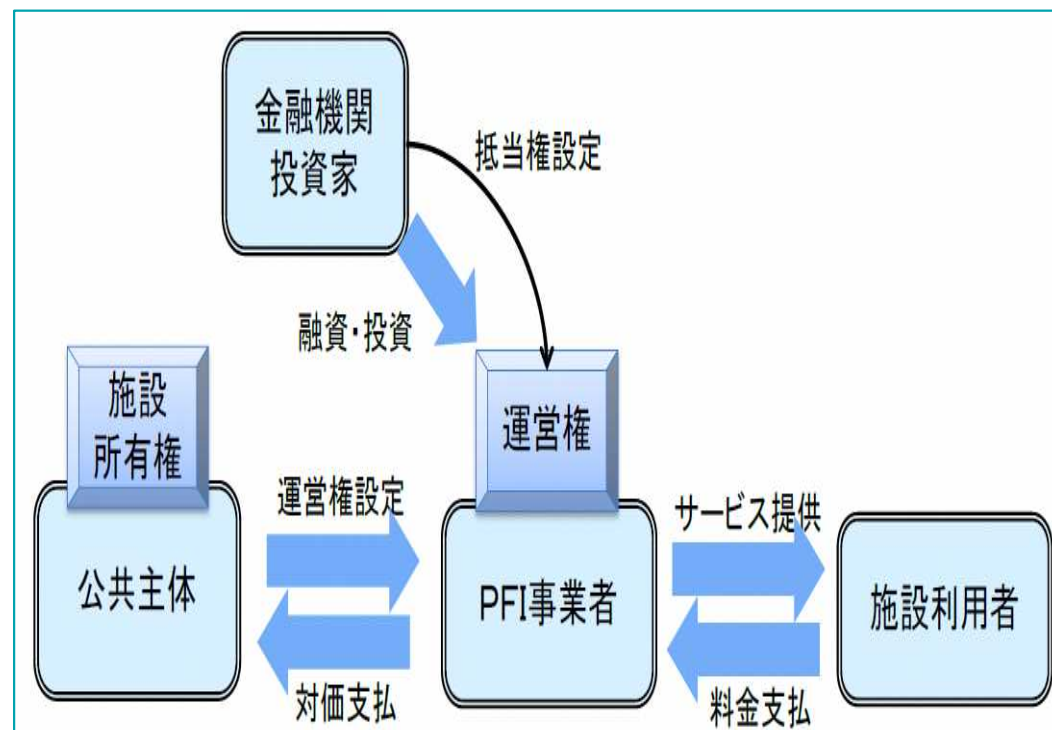
民間委託手法

- ①国が土地等の所有権を留保
- ②民間に運営権を設定
- ③航空系事業と非航空系事業を一体経営
(滑走路等) (旅客ターミナル等)

・運営権者は、国から公共施設等運営権の設定を受けることにより滑走路等の運営を実施、三セク等の株式を取得することによりターミナルビル等の運営を実施

・運営権者は、着陸料、駐車料金、物販その他の収入を設定・收受し、これらの収入により事業実施に要する費用を負担する

運営権の設定イメージ



出典：内閣府「公共施設等運営権及び公共施設等運営事業に関するガイドライン」5頁より】

◇ 全国における空港コンセッションの進捗状況について

空港分布図

令和3年4月1日現在

出典:「空港分布図」(国土交通省)を加工して大分空港利用促進期成会事務局作成

北海道内7空港 R2.6~

運営権者:北海道エアポート(株)
 運営権対価:2,920億円(2,200億円【一括】+720億円【分割 24億円×30年】)
 出資企業:北海道空港(株)、三菱地所(株)、東急(株)、(株)日本政策投資銀行、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、北海道電力(株)等

- ・新千歳空港(R2.6~)
- ・旭川空港(R2.10~)
- ・稚内空港、釧路空港、函館空港、帯広空港、女満別空港(R3.3~)

広島空港 R3.7~

運営権者:広島国際空港(株)
 運営権対価:185億円【一括】
 出資企業:三井不動産(株)、東急(株)、(株)広島銀行、広島電鉄(株)、九州電力(株)、中国電力(株)、マツダ(株)、福山通運(株)等

鳥取空港 H30.7~

運営権者:鳥取空港ビル空港(株)

但馬空港 H27.1~

運営権者:但馬空港ターミナル(株)

仙台空港 H28.7~

運営権者:仙台国際空港(株)
 運営権対価:22億円【一括】
 出資企業:東急(株)、前田建設工業(株)、豊田通商(株)、東急不動産(株)等

福岡空港 H31.4~

運営権者:福岡国際空港(株)
 運営権対価:4,460億円(200億円【一括】+4,260億円【分割 142億円×30年】)
 出資企業:福岡エアポートHD(株)、西日本鉄道(株)、三菱商事(株)、Changi Airports、九州電力(株)

関西空港・伊丹空港 H28.4~

運営権者:関西エアポート(株)
 出資企業:オリックス(株)
 VINCI Airports等

神戸空港 H30.4~

運営権者:関西エアポート神戸(株)
 出資企業:オリックス(株)、VINCI Airports、関西エアポート(株)等

熊本空港 R2.4~

運営権者:熊本国際空港(株)
 運営権対価:103億円【一括】
 出資企業:
 三井不動産(株)、九州電力(株)、九州産業交通ホールディングス(株)、双日(株)、日本空港ビルデング(株)、(株)サンケイビル、九州産交運輸(株)、(株)テレビ熊本、(株)再春館製薬所、ANAホールディングス(株)、日本航空(株)

静岡空港 H31.4~

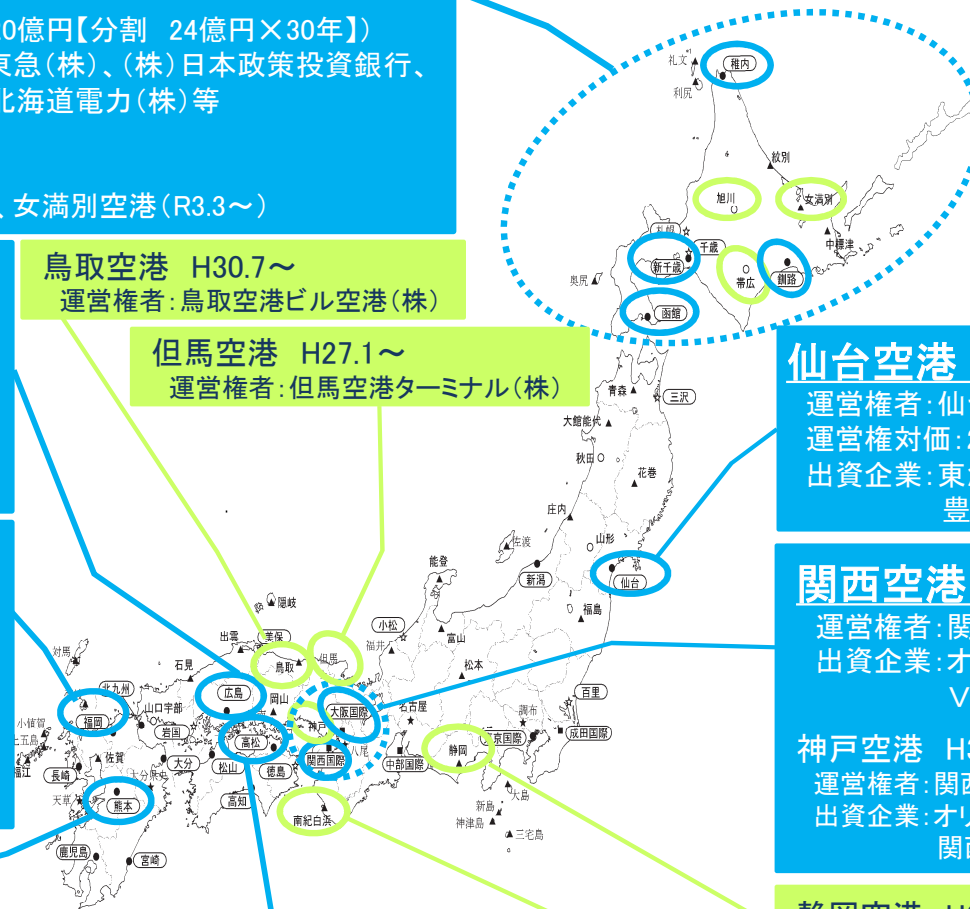
運営権者:富士山静岡空港(株)
 出資企業:三菱地所(株)、東京急行電鉄(株)

高松空港 H30.4~

運営権者:高松空港(株)
 運営権対価:50億円【一括】
 出資企業:三菱地所(株)、大成建設(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)等

南紀白浜空港 H31.4~

運営権者:(株)南紀白浜エアポート
 出資企業:(株)経営共創基盤、(株)みちのりHD(株)白浜館



◇ コンセッション方式を導入した場合に期待される効果

- ポストコロナにおける**地方創生を加速**させるためには、国内外からの**交流人口を拡大**させることが重要。
- 民間のノウハウや資金を活用することができる**コンセッション方式の導入**により、**地域経済の活性化**の実現が期待される。

路線・インバウンド等の交流人口の増加が期待！

- **新規路線の誘致**
 - 着陸料等の料金引き下げによる新規就航コストの低減
- **エアラインに対する営業体制**
 - セールス専門部隊、データを駆使した戦略的な営業
- **民間企業の顧客基盤を活かしたプロモーション**

旅客ターミナル等の空港施設の魅力向上が期待！

- **商業施設の拡充**
- **外国人、高齢者、子どもにも配慮したサービスの充実**
- **既存交通事業者との連携・二次交通の拡大**
- **駐車場のリニューアル**
 - 料金設定、予約システム、割引

空港周辺地域の活性化が期待！

- **宇宙港等の空港関連事業との連携**
- **臨空関連ビジネスへの新規参入**
- **地域交流イベントの充実**

地域経済の活性化

- 地域への来訪者の増加による**観光需要の拡大や宿泊、物販等の消費拡大**
- 空港周辺地域の活性化・来訪者の増加による**新たな雇用の創出、ビジネス機会の増加**

◇ 他空港におけるコンセッション導入の成果(例)

- ① 県として今後大分空港をどのようにしていきたいかというビジョンを条件化し、民間から様々な提案をさせることが可能。
- ② 提案した内容については、運営業者として履行する義務を負う(国がモニタリング)。

1. 路線の拡大・ 旅客数の増加

- ・ 戦略的なエアポートセールス
※エアライン誘致の専門部署の設立
 - ・ 国際・国内線の路線拡大
 - ・ 旅客、貨物数の増加
 - ・ LCC等の新規航空会社の就航
- 等

【仙台空港】

便数:週367便 ⇒ 週414便 (+47便)
乗降客数:311万人 ⇒ 361万人(過去最高)
※台北線等の国際線新設
※札幌、出雲便等の国内線の新設

【高松空港】

便数:週132便 ⇒ 週138便 (+6便)
乗降客数 180万人 ⇒ 209万人(過去最高)
※ソウル線、台北線等の国際線の増便

2. 駐車場、ターミナルビル等の 空港施設整備

- ・ 立体駐車場の建設
 - ・ 駐車場事前精算機の新設・キャッシュレス対応
 - ・ 搭乗待合エリアの拡張、搭乗口の増設
 - ・ 商業エリア・テナントの充実
 - ・ 自動手荷物預入機、顔認証システム等の先端技術導入によるFast Travelの実現
- 等

【仙台空港】

・国内線搭乗口の増設 6ヶ所→10ヶ所

【高松空港】

・収納台数1003台→1393台

【熊本空港】(コンセッション開始後の目標)

・54㎡→2500㎡制限エリア内店舗面積
・免税店舗面積 現状約10倍
・ピーク時最大待ち時間 30分→10分以内

3. 地域の魅力向上、情報発信、 アクセス向上など

- ・ 地域の魅力の効果的な発信
 - ・ 地域にひらかれた にぎわい広場
 - ・ カーシェアリングの導入
 - ・ アクセスバス路線の新設・増便
 - ・ ホテル、商業施設等の複合施設
 - ・ 防災機能の強化
- 等

【高松空港】(コンセッション開始後の目標)

・イベントスペースの設置
・空港内アクティビティ施設の設置

【福岡空港】(コンセッション開始後の目標)

・周辺エリアに複合施設(商業施設、ホテル等)を建設

1. 大分空港の課題・ポテンシャル

- (1) 大分空港及び空港を取り巻く環境の現状
及び課題整理
- (2) コロナ禍を踏まえた航空・観光
マーケットの将来トレンドに関する分析
- (3) 空港コンセッションについて
- (4) 宇宙港の将来性

◇ 宇宙港としての利用見通し

▶ 本年11月5日、ANAHDとVirgin Orbitが基本合意書を締結。

2021年11月5日
ANAホールディングス株式会社
Virgin Orbit

ANAホールディングスとヴァージン・オービットが 人工衛星打上げ事業に係る基本合意書を締結

-アジア初の航空機を利用した人工衛星の打上げ事業の展開に向けた動きを加速させます-

ANAホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：片野坂真哉、以下「ANAHD」）は、2021年10月20日、Virgin Orbit（本社：アメリカ合衆国カリフォルニア州、社長兼CEO：DAN HART、以下「ヴァージン・オービット」）と日本国内での航空機を利用した人工衛星打上げ事業の展開に向けた基本合意書の締結に至りました。



今回の基本合意書締結の目的は、ANAHDとヴァージン・オービットが2019年6月に発表したパートナーシップを強化し、改修したジャンボジェット（ボーイング747-400型機）を使用して高度約10kmでロケットを航空機から切り離して打上げる、ヴァージン・オービットの技術を活用した日本国内での人工衛星打上げ事業の実現に向けた具体的な協議を行うことです。

ANAHDは、事業展開に必要な国内における許認可の取得、ロケットの衛星搭載スペースの販売、宇宙港で使用する地上支援機材の手配・輸送、ファイナンスの組成等の役割を担うことで、事業の実現並びに日本の宇宙産業の拡大に貢献します。また、衛星搭載スペースの販売については国内独占販売権を取得し、多角化事業を担う全日空商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：志岐 隆史、株主：ANAHD100%）と協業する事によるビジネスの拡大を目指します。

日本からの打上げについては、ヴァージン・オービットがパートナーシップを結んでいる大分空港の宇宙港としての活用が検討されており、2022年以降10年間で20回の打上げを目指します。航空機を用いて上空から人工衛星を打上げることにより、天候事由による打上げ時期の調整が減少するとともに、地上から垂直に打ち上げるよりもロケットに必要な搭載燃料が少なくなることから、環境への貢献、経済的なパフォーマンスが向上します。

ANAHDとヴァージン・オービットは、日本・アジアにおける民間企業と政府機関双方の潜在的な需要に1日も早く応え日本の宇宙産業の拡大に貢献することができるよう、計画の具体化に向け協議を重ねて参ります。

以上

出典：ANAHD HP (<https://www.anahd.co.jp/group/pr/202111/20211105-2.html>)

<プレスリリースのポイント(抜粋)>

- 2022年以降、10年で20回の人工衛星の打ち上げを目指す
- 日本からの打上げについては、ヴァージン・オービットがパートナーシップを結んでいる大分空港の活用を検討

◇ アジアにおける宇宙ビジネスのハブを目指して

➤ 2019年6月6日、ANAHDがVirgin Orbitとのパートナーシップを発表。

2019年6月6日
Virgin Orbit
ANAホールディングス株式会社

ANAホールディングスがヴァージン・オービットとの パートナーシップを発表

～ヴァージン・オービットがアジアで初の事業展開へ～

ANAホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：片野坂真哉、以下「ANAHD」）は、Virgin Orbit（本社：アメリカ合衆国カリフォルニア州、社長兼CEO：DAN HART、以下「ヴァージン・オービット」）の日本・アジア展開に関する契約を結びました。



ヴァージン・オービットの事業内容は、改修したジャンボジェット（ボーイング747-400型機）を利用し人工衛星を打ち上げるものです。航空機を用いることで既存の地上打ち上げ施設とは異なり、柔軟な打ち上げ地点の設定が可能となります。この独自のシステムを活用することで、日本から宇宙へのアクセスをより身近なものとし、人工衛星打ち上げをはじめとした日本の宇宙産業の拡大に貢献いたします。

ANAHDとヴァージン・オービットは長期的な協力関係を結ぶことで合意し、平和利用を目的とした日米の宇宙産業のさらなる関係強化に貢献いたします。

この合意に基づき、ANAHDは、ヴァージン・オービットの日本やアジアにおける打ち上げサービスのための輸送支援や、航空機と地上支援機材（航空機牽引車など）の整備もしくは運航支援において、協力関係を築くための協議を開始しました。

ANAHDは一般社団法人スペースポートジャパン（以下「SPJ」）とも連携して国内における宇宙機離発着場に関する検証を行っており、ヴァージン・オービットの日本におけるサービス開始に最適な打ち上げ場所の選定に向けてSPJと協力し、日本がアジアにおける宇宙輸送ハブになることを目指します。

＜プレスリリースのポイント（抜粋）＞

- Virgin Orbitの日本・アジア展開に関する契約を締結
- ANAHDは、SPJとも連携し、日本がアジアにおける宇宙輸送ハブとなることを目指す

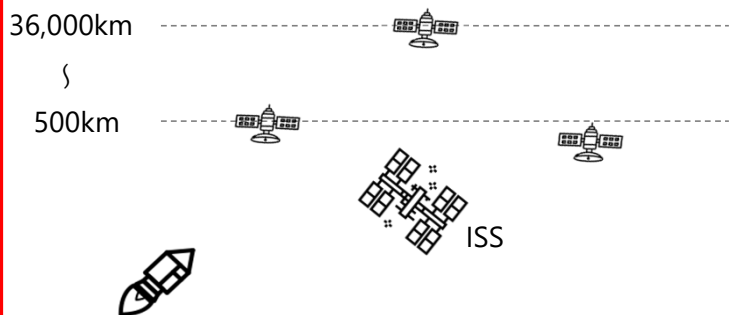
◇ 宇宙港(スペースポート)において実現されるビジネス

宇宙港によって、実現される輸送ビジネス（衛星・有人）の類型

2021年

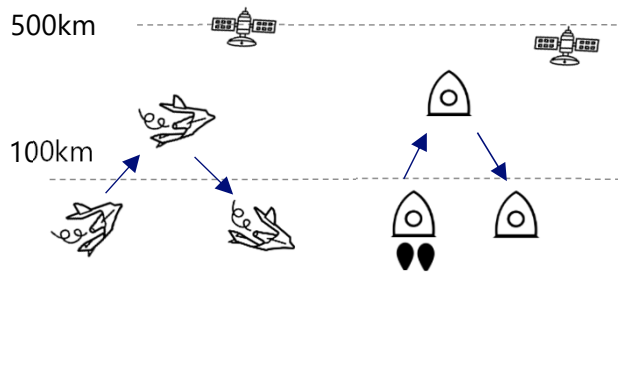
2040年代？

人工衛星等の打ち上げ



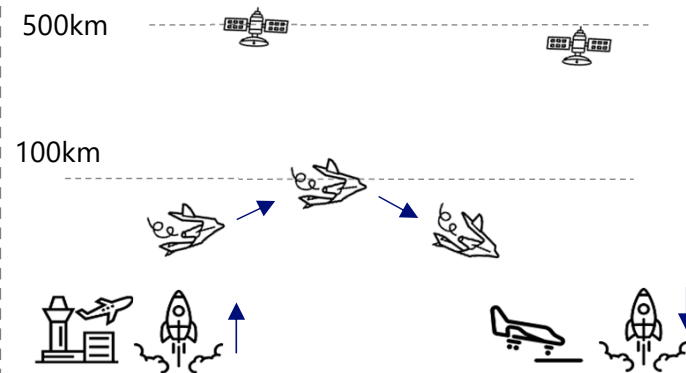
- ロケットを使った衛星等の打ち上げを実施
- 垂直型のロケットと飛行機を使った水平型の打ち上げが存在

有人宇宙飛行（サブオービタル）



- 飛行機型の輸送機やカプセル型の輸送機を使った宇宙旅行
- 2021年に商用サービスが米国にて開始

高速2地点間移動（P2P）



- 宇宙旅行の技術を応用した次世代の高速輸送インフラ
- 地球上のいかなる2地点も数時間以内に移動できると期待される

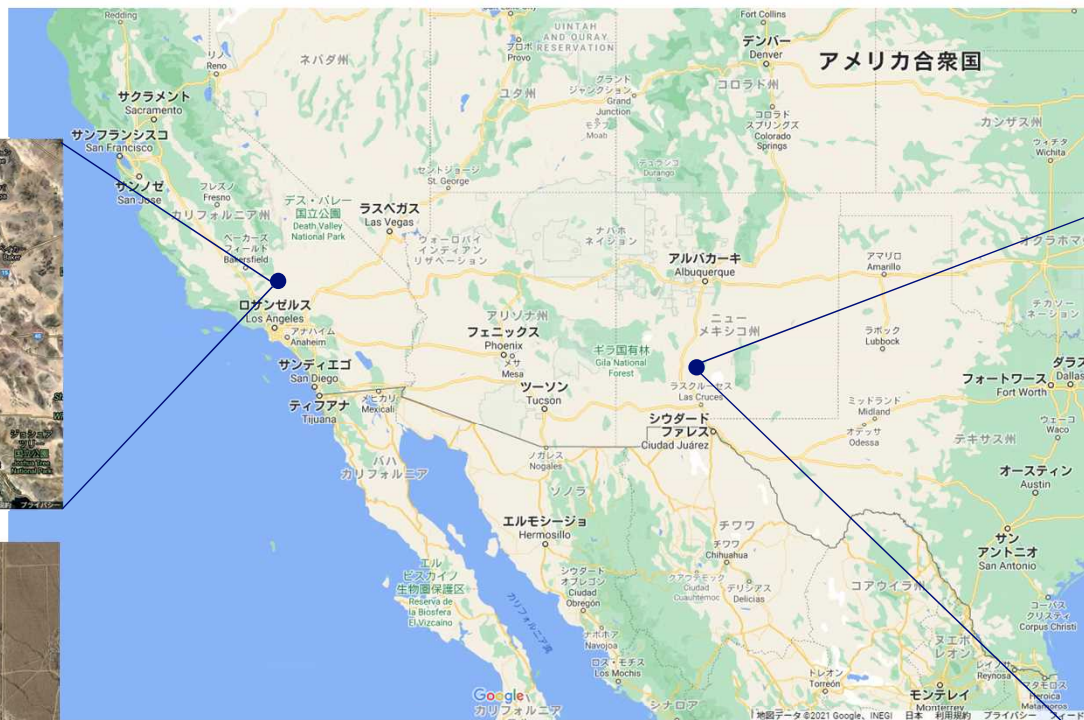
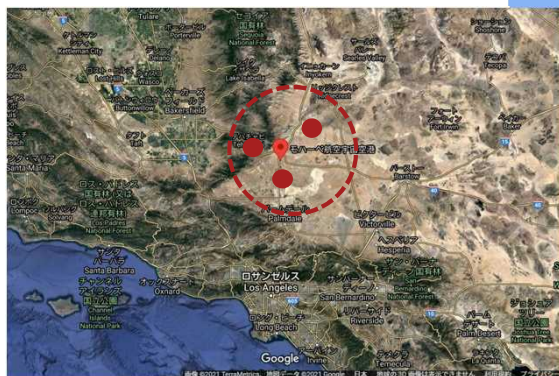
文科省所管の検討会（2021年6月）にて、高速2地点間輸送の市場規模は、2040年に5.2兆円規模（我が国発着ベース）になる可能性があるとする

◇ 大分宇宙港の地の利

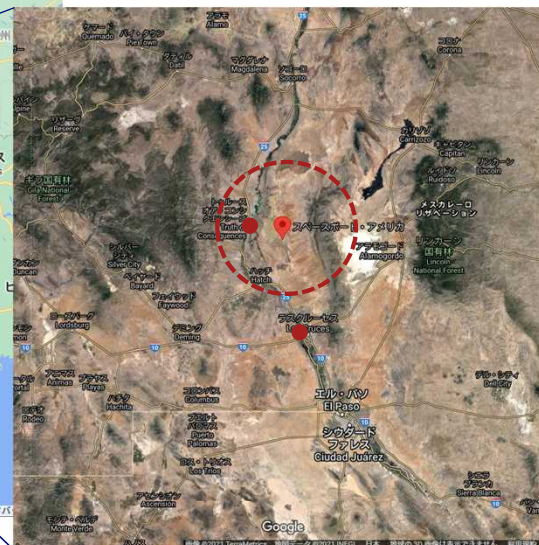
➤ 米国に存在する2つの有名なスペースポートはともに砂漠地帯に立地しており、アクセスやサポート機能(飲食・宿泊など)の利便性に課題。

モハベ航空宇宙港

- 近隣の街
 - 左：Tehachapi (人口約1.3万人)
 - 下：Rosamond (人口約2万人)
 - 右上：California City (人口約1.4万人)
- 半径50kmの円



スペースポートアメリカ



- 半径50kmの円
- 近隣の街
 - 左上：Truth or Consequences (人口約6,000人)
 - 右下：Las Cruces (人口約10万人)

◇ 宇宙港の効果

➤ 宇宙港実現により、産業創造、観光（文化）の促進、教育・研究振興が期待され、宇宙港を核とした、経済発展や賑わい創出に繋がると考えられる。

- 宇宙港の効果は、「産業創造」、「観光（文化）」「教育・研究」、の3点に集約
- 宇宙産業は、対政府（BtoG）、対企業（BtoB）、BtoC（対消費者）と多様な接点を有する

宇宙港の効果（ポテンシャル）

産業創造

- 宇宙港を支えるサプライチェーンの創出
- 県内における宇宙関連企業の創出
- 宇宙関連企業の誘致
- 他産業の宇宙活用促進（宇宙×〇〇の促進）

観光 （文化）

- 宇宙港を活用した観光プログラムの開発
- 新しい来県客層の獲得（航空・宇宙ファンなど）
- 宇宙エンタメ（宇宙を活用したエンターテインメント事業）の展開

教育・研究

- 宇宙を活用した教育活動の推進（宇宙科学教室など）
- STEAM・グローバル教育の促進（国際的な宇宙港のネットワークを活用）
- 国内外の研究機関等との連携促進

◇ 宇宙港の将来展望

➤ 中長期的に、有人宇宙旅行や高速2地点間移動などにも対応できる宇宙港に発展した際には、産業、観光(文化)、教育・研究面で、更なる波及効果が期待できる。

■ (中長期的に) 有人宇宙旅行が実現した際に想定される、宇宙港の効果 (例)



• 事前のメディカルチェックやトレーニングへの対応など、有人輸送に必要な地上サービスの創出



• 富裕層を受け入れるための環境整備の促進 (特別体験プログラム等の開発、施設)



• 宇宙旅行用宇宙食の開発など、有人宇宙旅行に付随するビジネスの創出



• 宇宙空間の人体への影響や宇宙酔い対策等、宇宙旅行に係る研究の促進

【参考】

米国の宇宙旅行会社 Virgin Galactic は、1人あたり45万ドル (約5,000万円) で2021年8月からチケット販売中 (以前は、25万ドルで販売)

* 2021年6月時点でのチケット購入者は、約600人

* Virgin Galacticの宇宙旅行は、サブオービタル飛行 (高度80~100kmまで上昇し、すぐに降下して帰ってくる) であり、宇宙空間にいられるのはわずか数分間だが、地球や宇宙空間を眺めることができ、船内は無重力状態になる

2. 取り組むべき施策の方向性

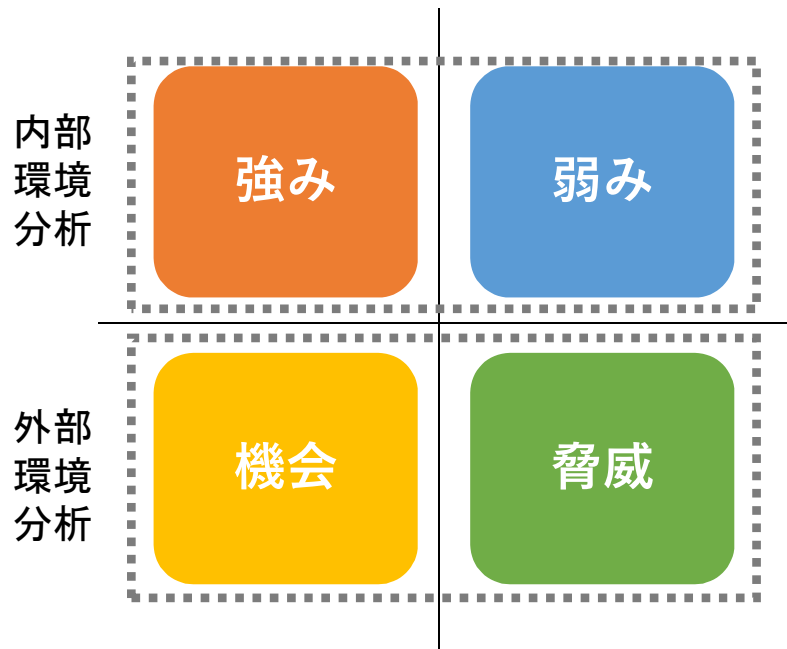
(1) SWOT手法に基づく大分空港の現状分析

(2) クロスSWOT手法に基づく施策の方向性

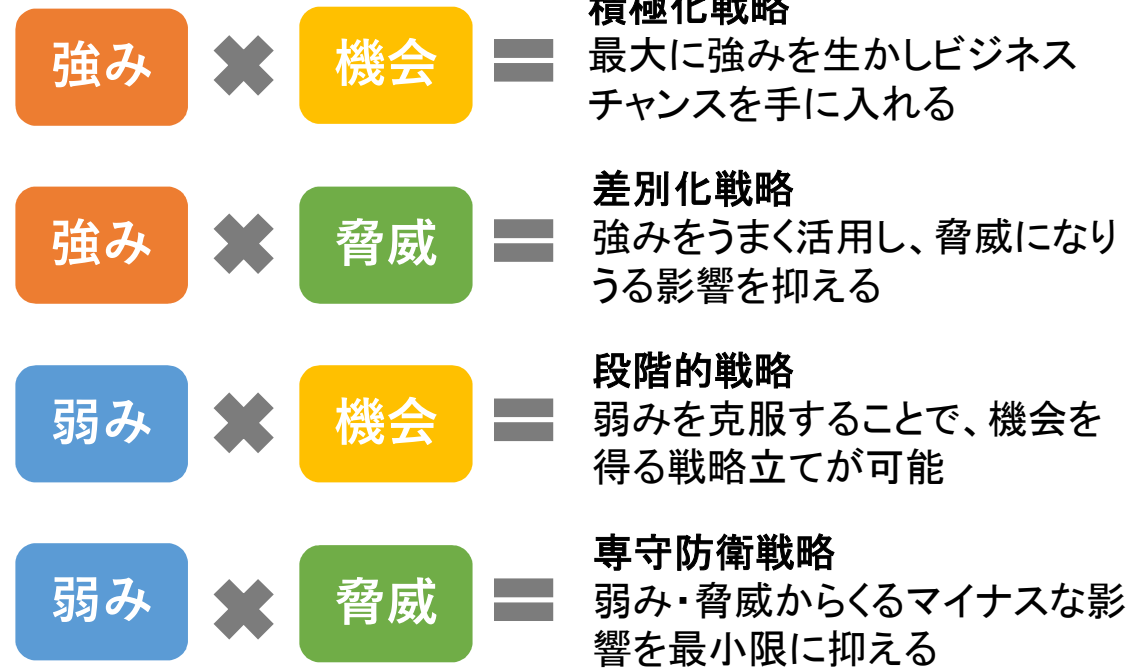
◇ SWOT分析とは

- SWOT分析とは、事業の現状分析及び戦略策定に用いられるフレームワーク。
- 本分析では、内部環境の強み (Strength) 及び弱み (Weakness)、外部環境の機会 (Opportunity)、脅威 (Threat) の、4つの要素をそれぞれ分析し、内部環境と外部環境の分析結果を組み合わせることで戦略を検討する。

SWOT分析



クロスSWOT分析



◇ SWOT分析(内部環境分析)

カテゴリー	強み(Strength)	
観光地としての魅力	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な観光資源を有しており、観光地としての魅力が高い(温泉、自然、伝統、文化、食等の多彩なコンテンツ) 	
九州屈指の産業集積	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野の産業がバランス良く集積 製造品出荷額等が九州第2位 	出典: 2020工業統計調査(経済産業省)
離着陸許容力の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 3000mの海上滑走路を有している 	
潤沢な再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの自給率が全国第2位(前年度は全国第1位) 地熱関連(地熱発電・地熱利用)の供給量が全国第1位 	出典: 永続地帯2020年度版報告書(千葉大学倉阪研究室、認定NPO法人環境エネルギー政策研究所)
留学生の多さ	<ul style="list-style-type: none"> 多くの留学生が在住(人口10万人当たりの留学生数全国第3位) 	出典: 2020年度外国人留学生在籍状況調査結果(独立行政法人日本学生支援機構)
東アジア4ヶ国・地域との近さ	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア4ヶ国・地域に近い立地 	
カテゴリー	弱み(Weakness)	
限定的な航空ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 国際線定期便は韓国便のみ 国内線も路線が限定的であり、九州内他空港と旅客数・路線数において劣後 	
他空港に劣後する空港アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 県庁所在地・大分市から1時間以上を要し、国内他空港との比較で劣後する空港アクセス 	



◇ SWOT分析(外部環境環分析)

カテゴリー	機会 (Opportunity)	
九州の東の玄関口としてのポテンシャル	<ul style="list-style-type: none">4つの交通モード(陸路・海路・空路・宇宙)の交通結節点となるポテンシャルがあり、今まで以上の人流・物流拠点機能が求められる。	
空港アクセスの改善	<ul style="list-style-type: none">ホーバークラフトによる空港アクセスの改善(空港-大分市内間最速25分)MaaS導入による、旅行者及び地域住民双方にとって利便性の高い交通手段の提供可能性(バリアフリー含む)	
インバウンド需要の高まり	<ul style="list-style-type: none">2025年大阪・関西万博2030年にインバウンド6,000万人の政府目標コロナによる需要減からの回復の取り込み訪日リピーターの増加外国人観光客による福岡県-大分県-熊本県等での広域周遊需要の成立(福岡-大分県間の流動が九州で最も多い、二次訪問で大分は九州最多)	
観光動向の変化	<ul style="list-style-type: none">FIT(Foreign Independent Tour/団体旅行ではなく、個人で海外旅行に行くこと)化の進展アドベンチャー・ツーリズム、サステナブル・ツーリズム等の広がり	
ワークスタイルの多様化	<ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルスの影響により、リモートワークやワーケーションが普及首都圏から地方への新たな人の流れの創出が期待	
宇宙港構想	<ul style="list-style-type: none">宇宙ビジネスに対する世界的な注目の高まりと、市場の拡大小型衛星のニーズ拡大とそれに伴う小型ロケットの打ち上げニーズの拡大米国において商用宇宙旅行が本格化成長戦略(R3.6.18閣議決定)において、宇宙港の整備などアジアにおける宇宙ビジネスの中核拠点化を目指す旨を明記	
カーボンニュートラルの推進	<ul style="list-style-type: none">カーボンニュートラル達成に向けた日本、世界の動向	

◇ SWOT分析(外部環境環分析)

カテゴリー	機会 (Opportunity)	
出国者数の増加	<ul style="list-style-type: none">大分県民の出国者数は増加傾向	
国際線ターミナルビルの拡張	<ul style="list-style-type: none">搭乗口の増設、出発ロビー、搭乗待合室の拡張等を行い、同時間帯2便対応可能なターミナルに改修(R元.5)	
LCCの需要拡大	<ul style="list-style-type: none">LCCの国内外における需要拡大	
カテゴリー	脅威 (Threat)	
人口減少や少子高齢化	<ul style="list-style-type: none">全国的な人口の少子高齢化の進展人口減少による働き手不足	
他空港や他の交通手段との競合	<ul style="list-style-type: none">九州内他地域の利便性・魅力向上(IR長崎、西九州新幹線等)大分ー関西・中部圏の移動需要における鉄道(新幹線を含む)との競合	
エアラインセールスの在り方	<ul style="list-style-type: none">近隣のコンセッション先行空港(福岡、熊本)をはじめとした他空港との路線誘致競争の激化他空港の誘致体制強化(専門チーム編成、迅速な受入対応等)	
パンデミックや災害等	<ul style="list-style-type: none">パンデミックや災害等による航空需要の減少	

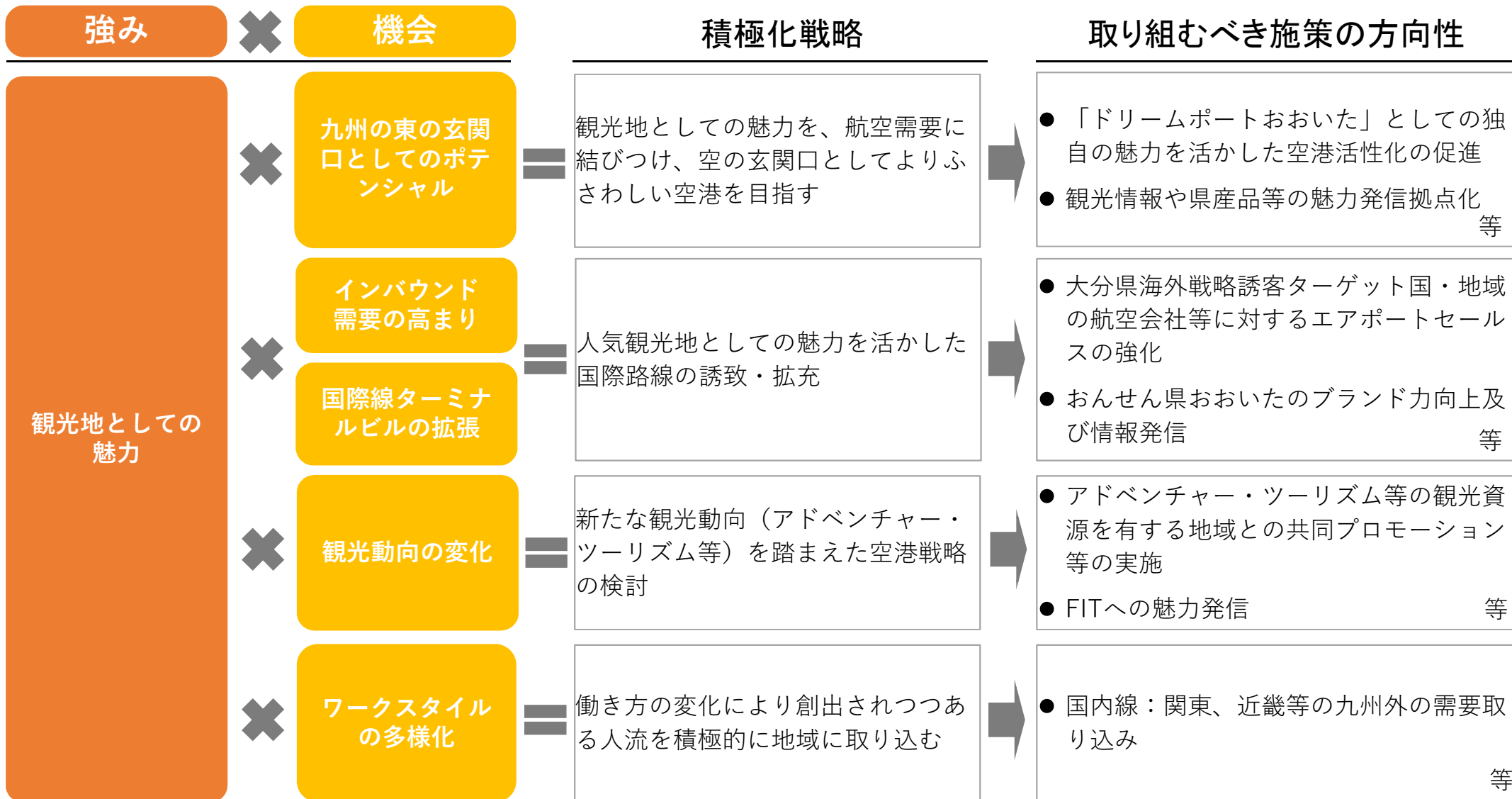
2. 取り組むべき施策の方向性

(1) SWOT手法に基づく大分空港の現状分析

(2) クロスSWOT手法に基づく施策の方向性

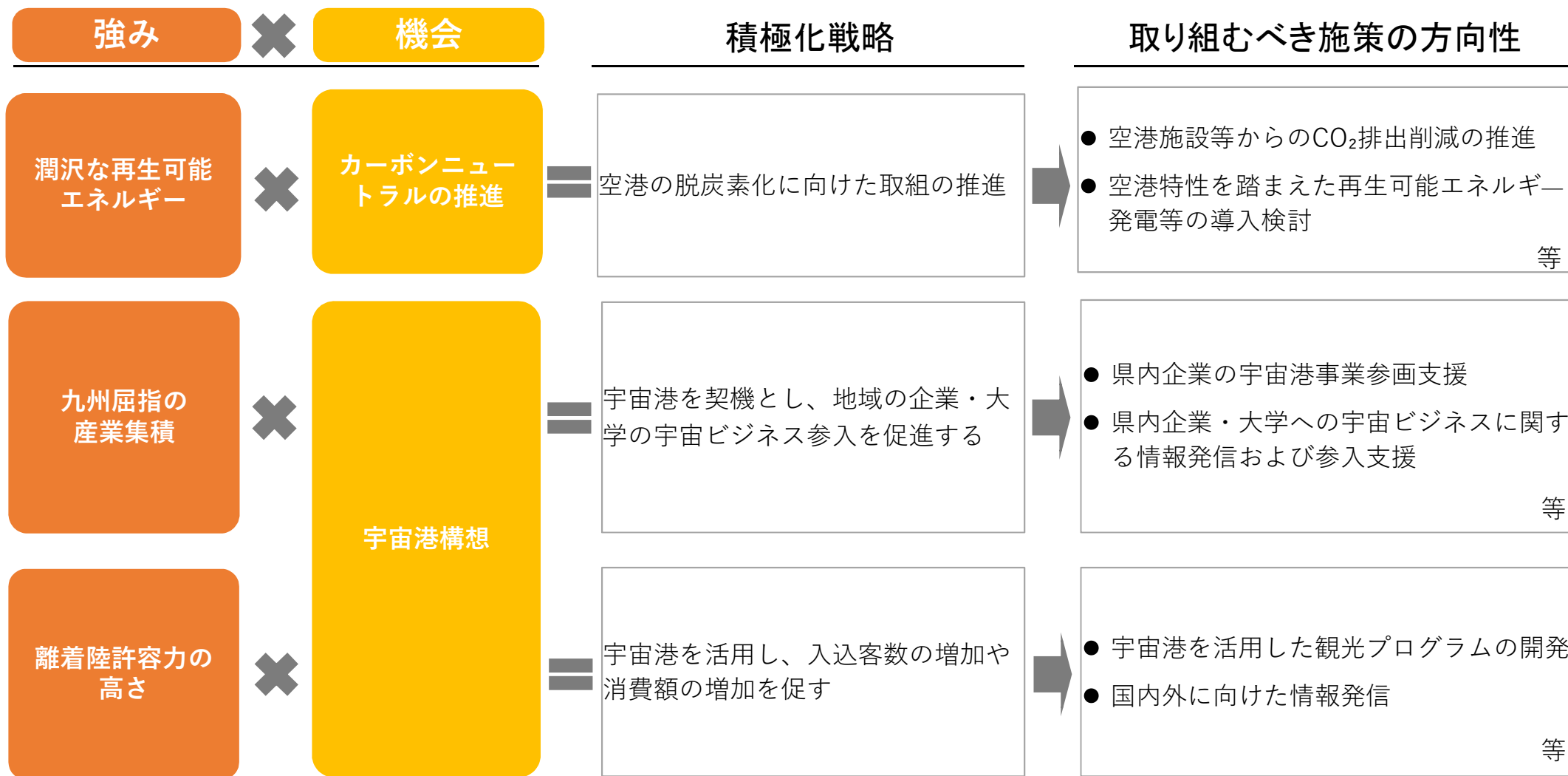
◇ クロスSWOT分析(積極化戦略)

- 強みと機会を活かし、ポストコロナにおける本県の地方創生を加速させるための空港活性化策を力強く実施。
- 宇宙港構想実現による大分空港及び地域の更なる活性化を図る。



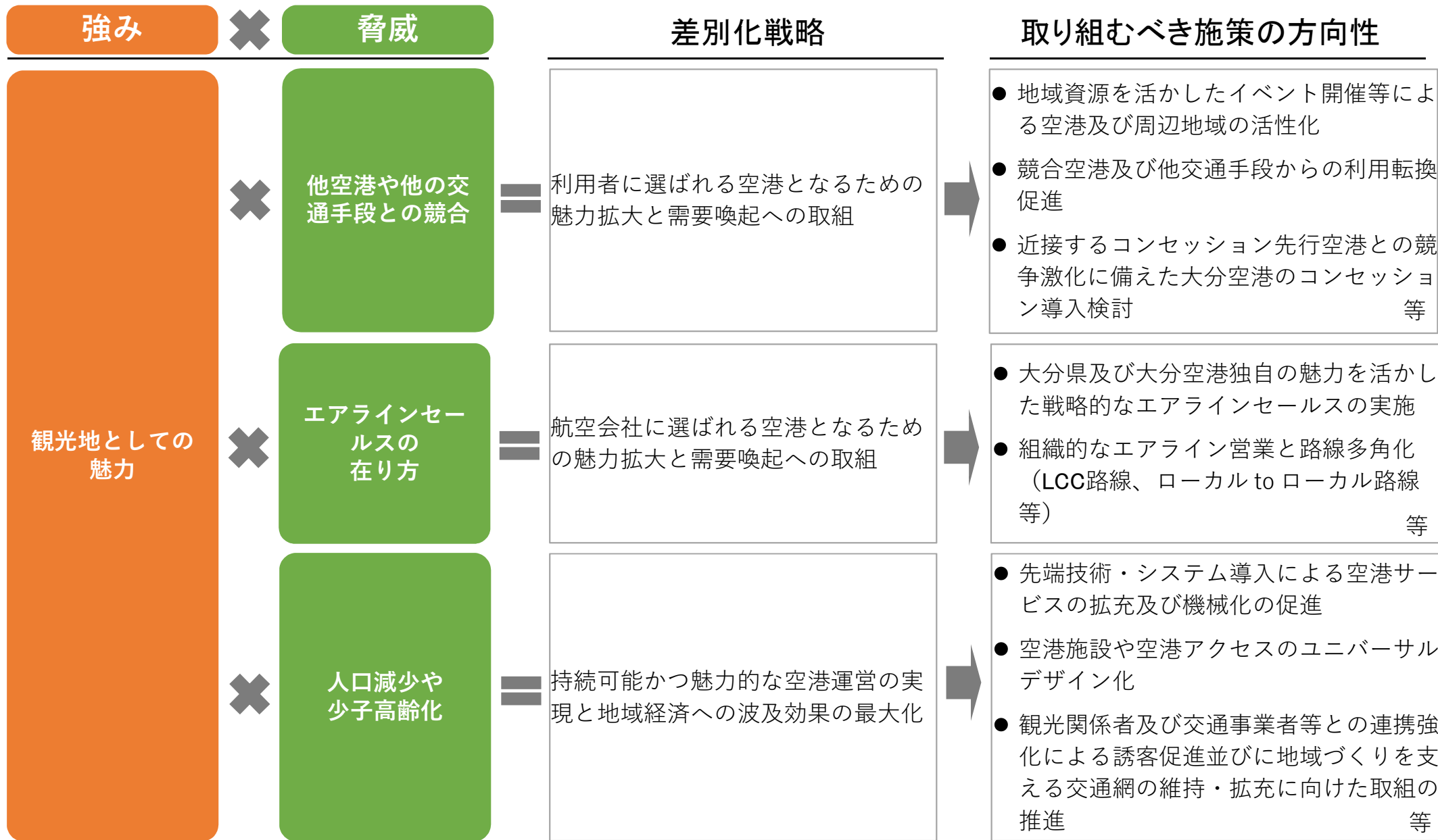
◇ クロスSWOT分析(積極化戦略)

- 強みと機会を活かし、ポストコロナにおける本県の地方創生を加速させるための空港活性化策を力強く実施。
- 宇宙港構想実現による大分空港及び地域の更なる活性化を図る。



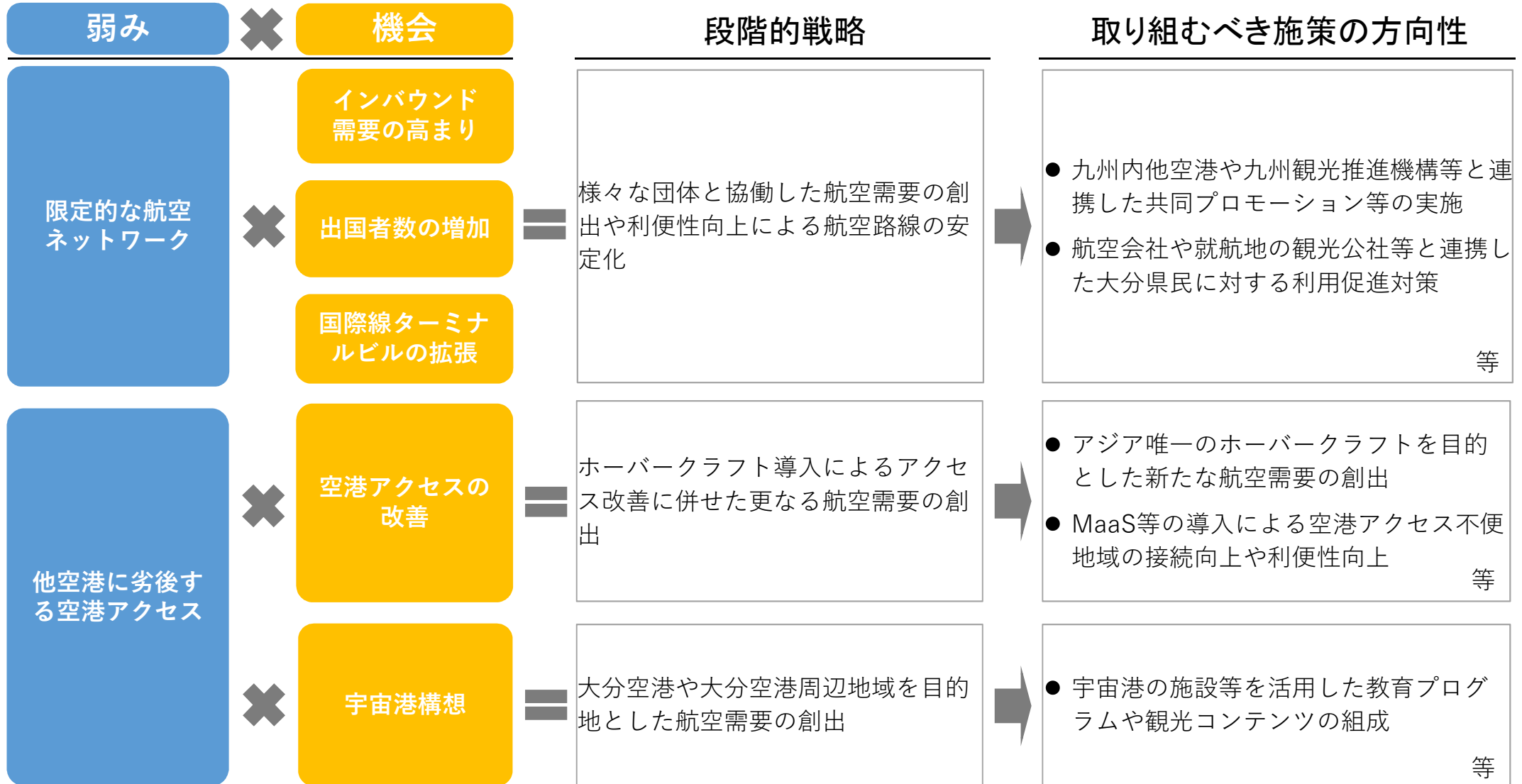
◇ クロスSWOT分析(差別化戦略)

- 強みを活かした競合空港や他交通手段との差別化を検討。
- 空港と地域、双方が活性化する、大分空港、大分県ならではの取組を検討



◇ クロスSWOT分析(段階的戦略)

- 空港アクセス改善等により弱みを克服することで、新たな航空需要を得る戦略を検討。
- 関係団体と協働して、新たな航空需要の創出に取り組む必要がある。



◇ クロスSWOT分析(専守防衛戦略)

- 弱みや脅威からくるマイナスな影響を最小限に抑えるための対策が必要。
- 新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックや災害等に対処し得る空港運営を行う必要性。

